

小規模企業景気動向調査 [2024年8月期調査]

～現状維持が続く中、賃上げへの対応が求められる小規模企業景況～

<産業全体>

8月期の産業全体の景況は、売上額DIが小幅に低下、資金繰りDIがわずかに上昇し、採算DIは変化がなかった。全産業において、仕入れ価格や光熱費のコスト高が継続している中、猛暑による外出減や自然災害の影響が大きかった産業もあり、事業者にとって苦しい状況が続いている。また、10月に最低賃金の引き上げが控えていることから、業種を問わず、今後の業況悪化を懸念する声が多かった。

	DI	7月	8月	前月比
売上額		52	25	▲27
採算	▲	16.1	▲16.1	0.0
資金繰り	▲	13.1	▲126	0.5
業況	▲	10.7	▲110	▲0.3

<製造業(食料品、繊維、機械・金属)>回復基調から小幅な悪化に転じた製造業

製造業は、売上額DIが小幅に低下し、採算・業況DIはわずかに低下した。

全業種において売上額DIが低下した。採算DIについても上昇した業種はなく、売上および利益の確保に苦戦している状況である。また、食料品関連において、原料米の値上げが予定されており、今後の収益悪化を懸念するコメントがあった。機械・金属関連は、一部業種において、海外に依存していた製造を国内に回帰させる動きがあり、今後の需要回復に期待が持たれる。

	DI	7月	8月	前月比
売上額		45	1.6	▲29
採算	▲	16.9	▲188	▲1.9
資金繰り	▲	14.3	▲139	0.4
業況	▲	12.5	▲135	▲1.0

<建設業>堅調な需要の中、適切な価格交渉の重要性が増している建設業

建設業は、売上額DIが大幅に低下し、採算DIはわずかに上昇、資金繰りDIはわずかに低下した。

需要は比較的堅調だが、建設コストの長期的な高止まりから、取引先が価格面について慎重に判断するようになり、利益確保に苦戦しているとのコメントがあった。また、人手不足解消のため、外国人技能実習生の受け入れを検討している事業者もいるが、事務手続きの煩雑さや、人材定着の難しさがハードルになっている状況である。

	DI	7月	8月	前月比
売上額		120	50	▲70
採算	▲	15.8	▲14.3	1.5
資金繰り	▲	120	▲138	▲1.8
業況	▲	9.3	▲9.7	▲0.4

<小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>回復基調の中、業種による差が明らかになってきた小売業

小売業は、売上額・資金繰りDIが小幅に上昇し、採算DIがわずかに上昇した。

食料品・耐久消費財関連は、全DIが上昇した。食料品関連については、イベントの再開や帰省シーズンの人流増加が要因としてあげられる。耐久消費財については、昨年と同程度の記録的な猛暑の影響により、エアコンの売上げが伸びたとのコメントが多かった。対して衣料品関連は、売上額・業況DIが低下した。猛暑による外出控えが売上等に大きく影響した。

	DI	7月	8月	前月比
売上額	▲	4.3	▲1.6	2.7
採算	▲	21.5	▲20.3	1.2
資金繰り	▲	18.2	▲15.8	2.4
業況	▲	17.0	▲16.7	0.3

<サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>自然災害の影響が大きかったサービス業

サービス業は、売上額DIが小幅に低下し、資金繰りDIはわずかに上昇した。

旅館関連は、売上額DIが大幅に低下した。台風10号、南海トラフ地震臨時情報の発表の影響を受けて、一部地域において宿泊のキャンセルが相次ぎ、繁忙期に水を差す結果となった。クリーニング関連は、全DIが上昇した。イベントや冠婚葬祭の需要が回復したことが要因としてあげられる。理・美容関連は、上昇したDIはなく、低価格帯のカット専門店との価格競争に苦慮しているとのコメントがあった。

	DI	7月	8月	前月比
売上額		8.5	50	▲3.5
採算	▲	10.3	▲11.0	▲0.7
資金繰り	▲	8.2	▲7.0	1.2
業況	▲	3.9	▲4.3	▲0.4

調査概要

・調査対象: 全国303商工会の経営指導員(有効回答数: 236/回答率77.9%)

・調査時点: 2024年8月末

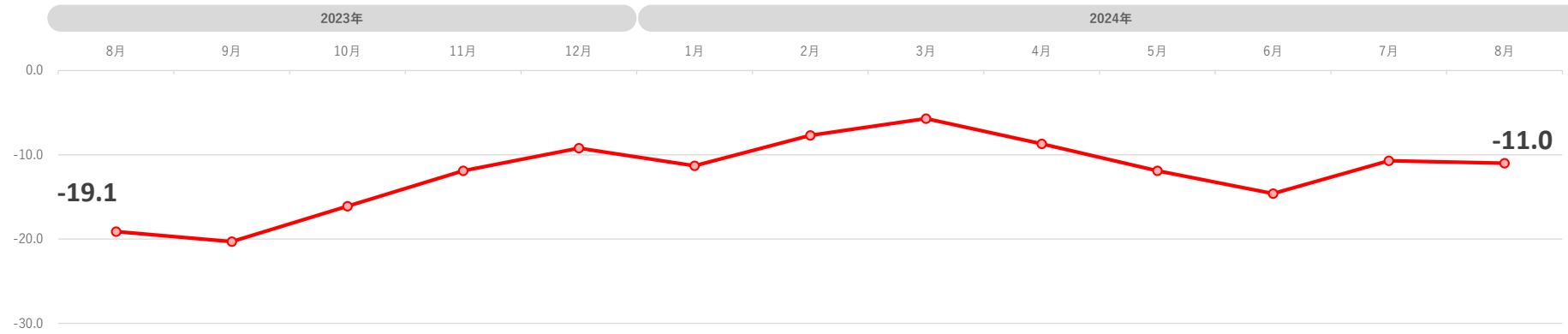
・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～

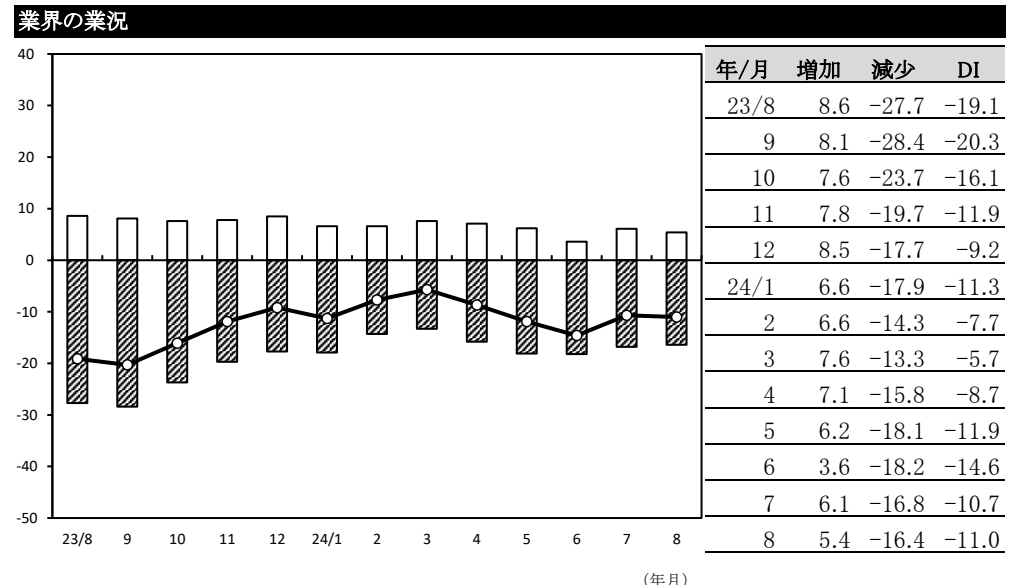
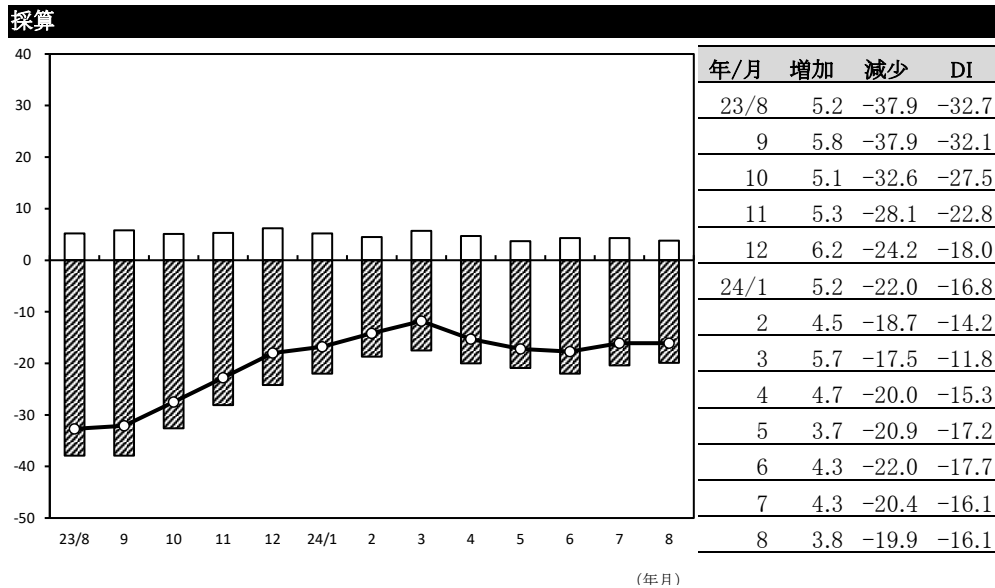
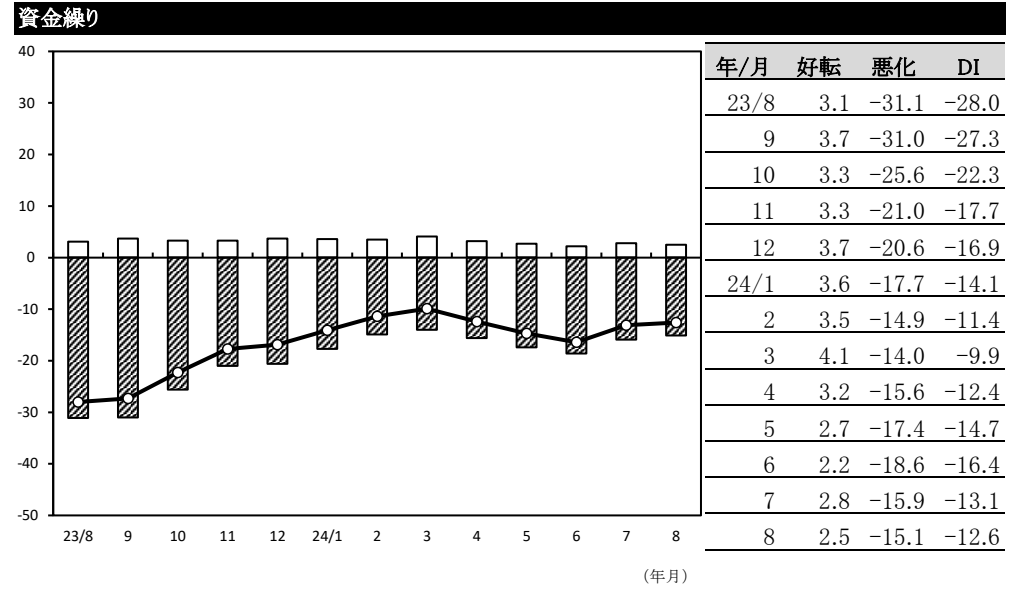
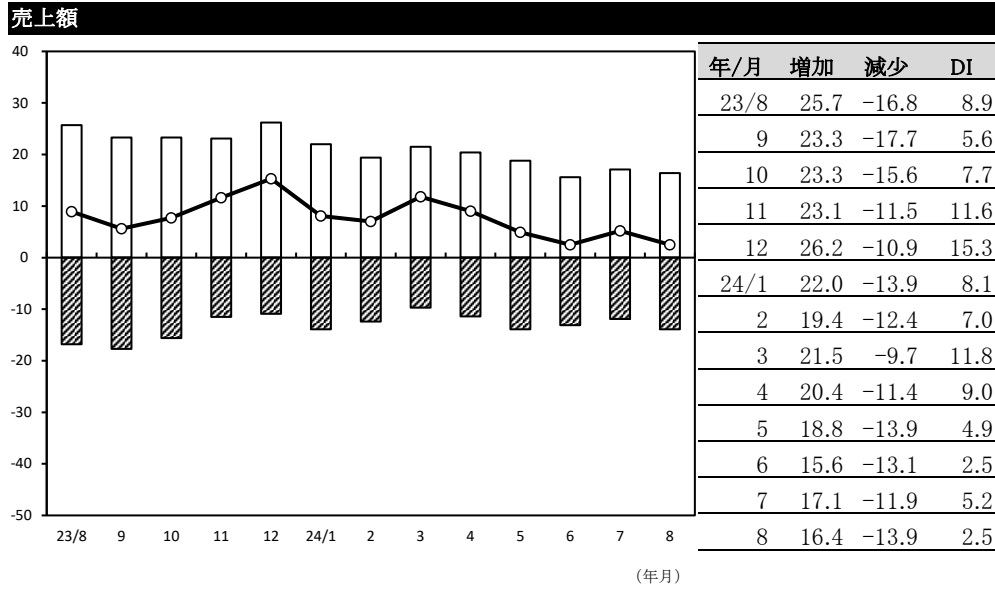


産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～



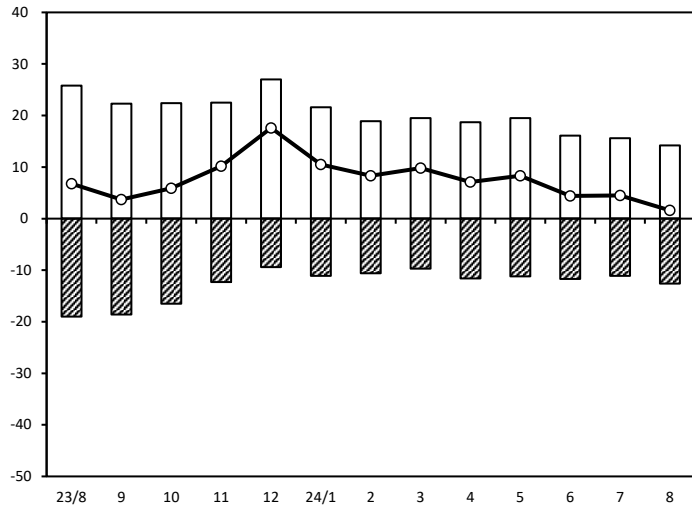
小規模企業景気動向調査(2024年8月期)

産業全体(前年同月比)



製 造 業(前年同月比)

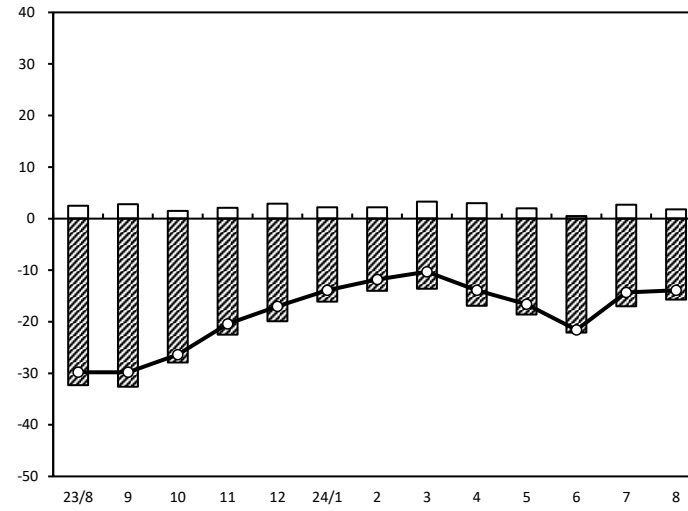
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/8	25.8	-19.0	6.8
9	22.3	-18.6	3.7
10	22.4	-16.5	5.9
11	22.5	-12.3	10.2
12	27.0	-9.4	17.6
24/1	21.6	-11.1	10.5
2	18.9	-10.6	8.3
3	19.5	-9.7	9.8
4	18.7	-11.6	7.1
5	19.5	-11.2	8.3
6	16.1	-11.7	4.4
7	15.6	-11.1	4.5
8	14.2	-12.6	1.6

(年月)

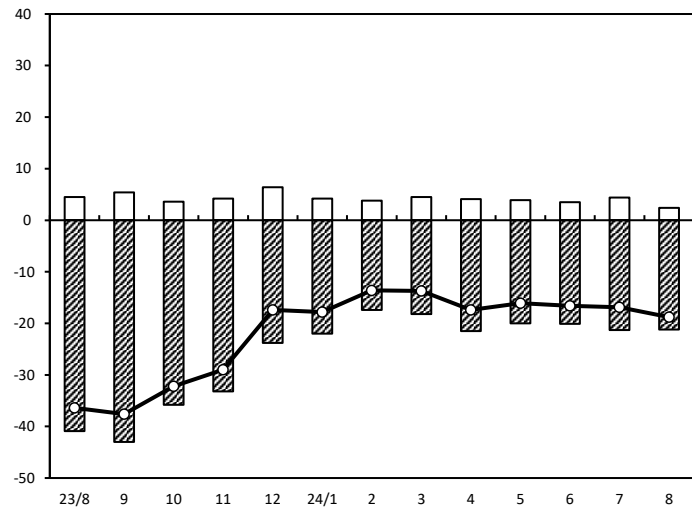
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/8	2.5	-32.3	-29.8
9	2.8	-32.6	-29.8
10	1.5	-27.9	-26.4
11	2.1	-22.5	-20.4
12	2.9	-19.9	-17.0
24/1	2.2	-16.1	-13.9
2	2.2	-14.0	-11.8
3	3.3	-13.6	-10.3
4	3.0	-16.9	-13.9
5	2.0	-18.6	-16.6
6	0.5	-22.1	-21.6
7	2.7	-17.0	-14.3
8	1.8	-15.7	-13.9

(年月)

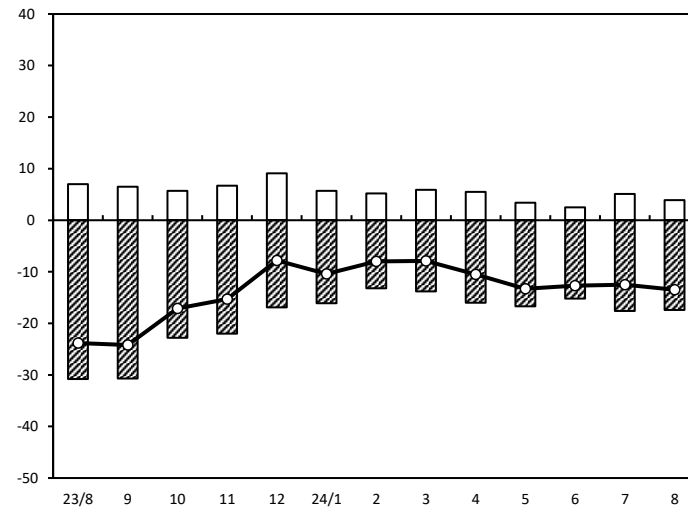
採算



年/月	増加	減少	DI
23/8	4.5	-40.9	-36.4
9	5.4	-43.0	-37.6
10	3.6	-35.8	-32.2
11	4.2	-33.2	-29.0
12	6.4	-23.8	-17.4
24/1	4.2	-22.0	-17.8
2	3.8	-17.4	-13.6
3	4.5	-18.2	-13.7
4	4.1	-21.5	-17.4
5	3.9	-20.0	-16.1
6	3.5	-20.1	-16.6
7	4.4	-21.3	-16.9
8	2.4	-21.2	-18.8

(年月)

業界の業況

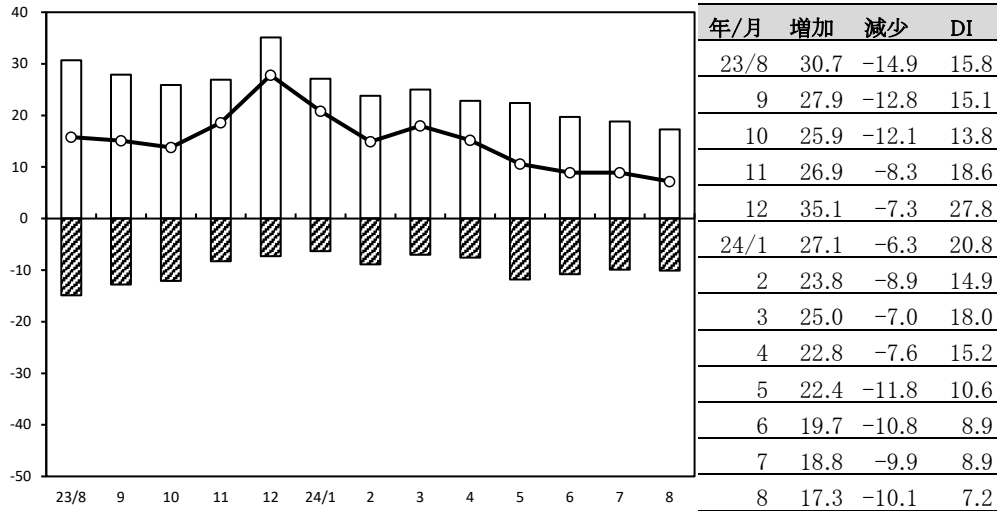


年/月	増加	減少	DI
23/8	7.0	-30.8	-23.8
9	6.5	-30.7	-24.2
10	5.7	-22.8	-17.1
11	6.7	-22.0	-15.3
12	9.1	-16.9	-7.8
24/1	5.7	-16.1	-10.4
2	5.2	-13.2	-8.0
3	5.9	-13.8	-7.9
4	5.5	-16.0	-10.5
5	3.4	-16.7	-13.3
6	2.5	-15.2	-12.7
7	5.1	-17.6	-12.5
8	3.9	-17.4	-13.5

(年月)

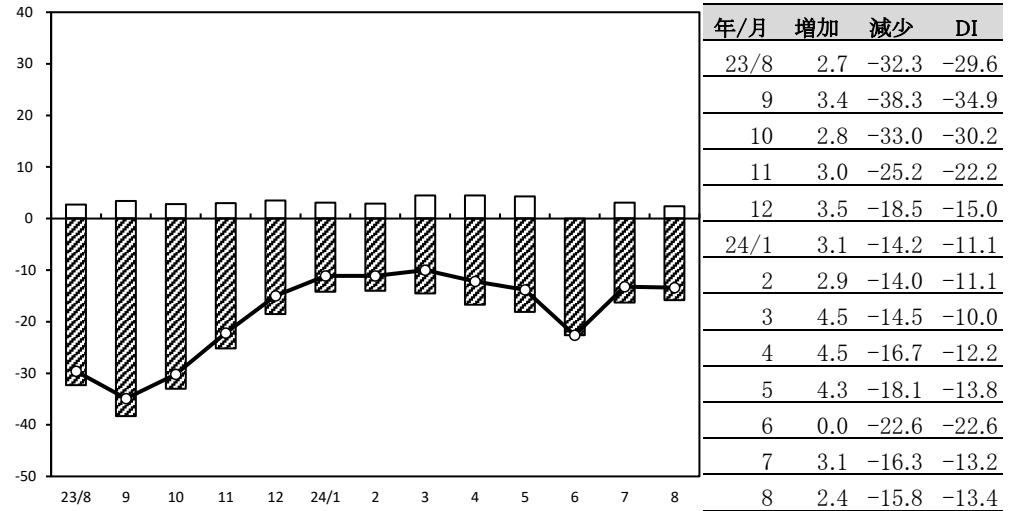
製 造 業 【食料品】（前年同月比）

売上額



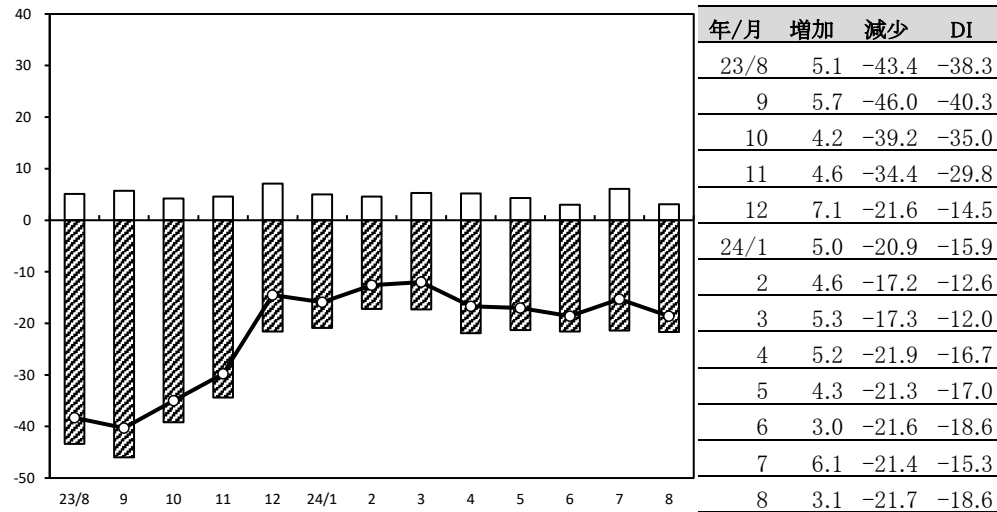
(年月)

資金繰り



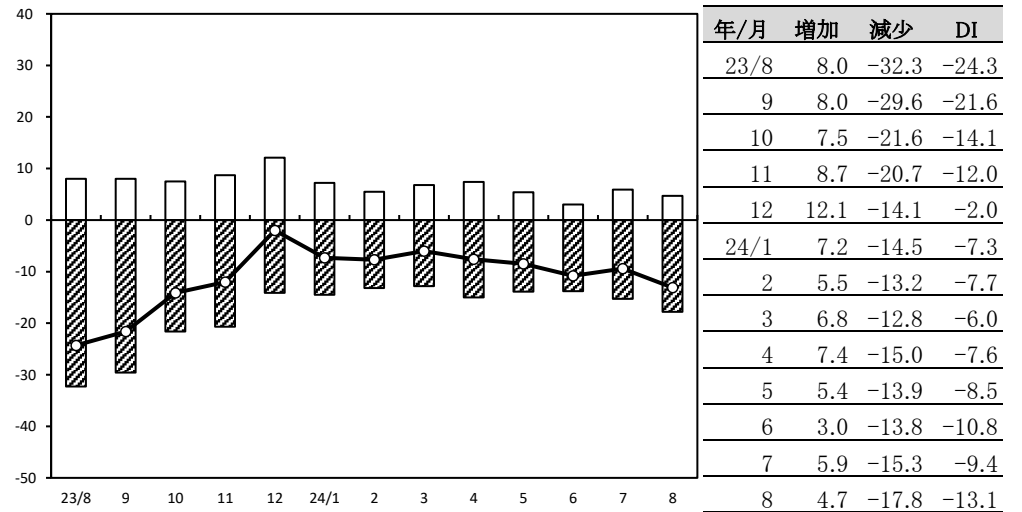
(年月)

採算



(年月)

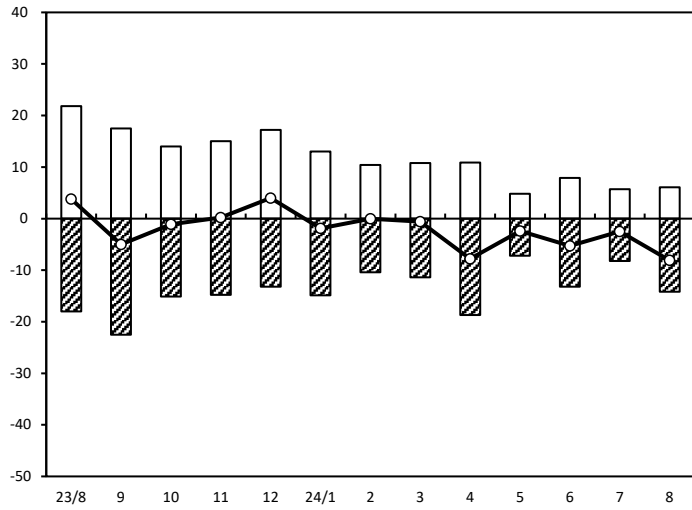
業界の業況



(年月)

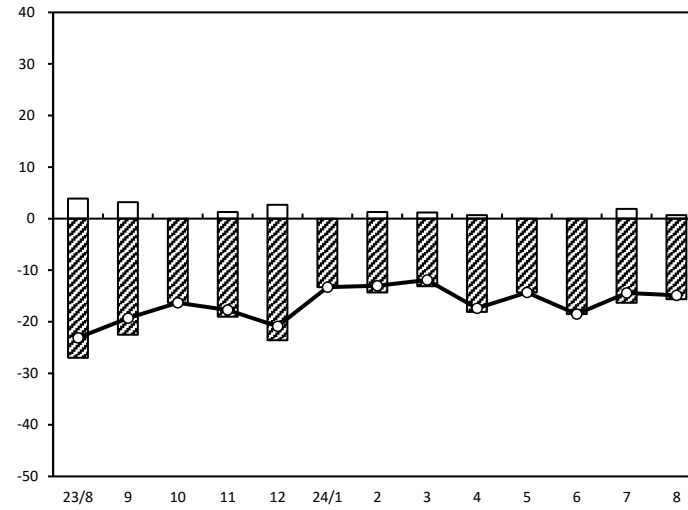
製 造 業【繊維】（前年同月比）

売上額



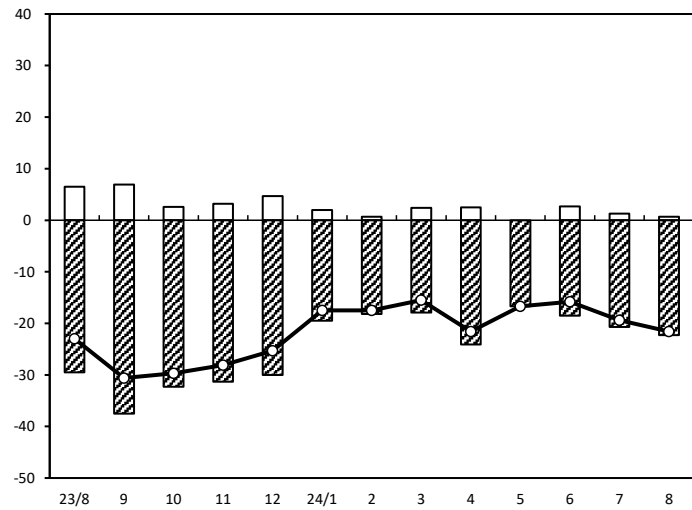
(年月)

資金繰り



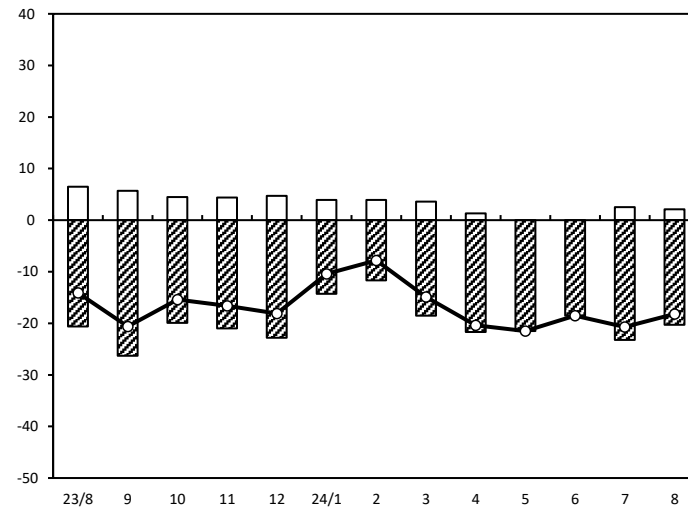
(年月)

採算



(年月)

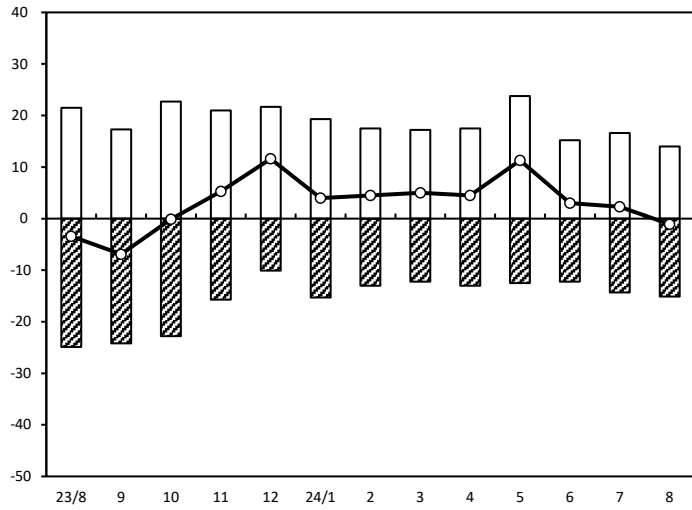
業界の業況



(年月)

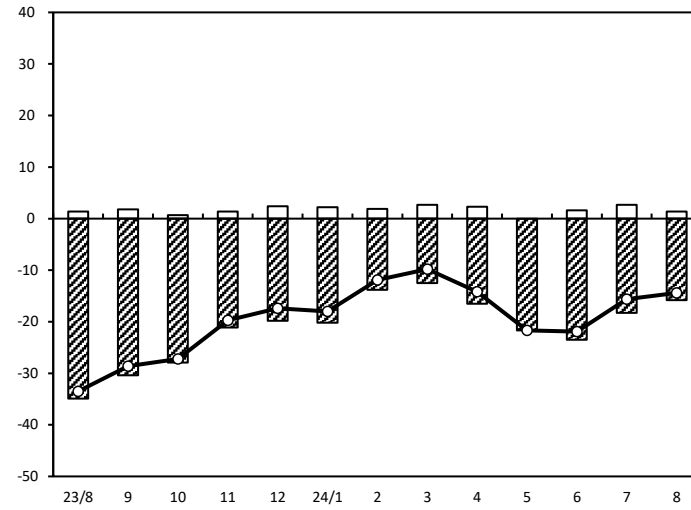
製 造 業【機械・金属】（前年同月比）

売上額



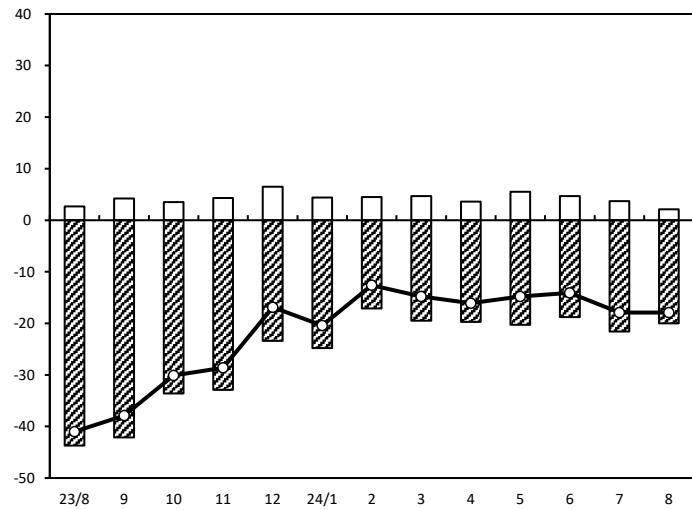
(年月)

資金繰り



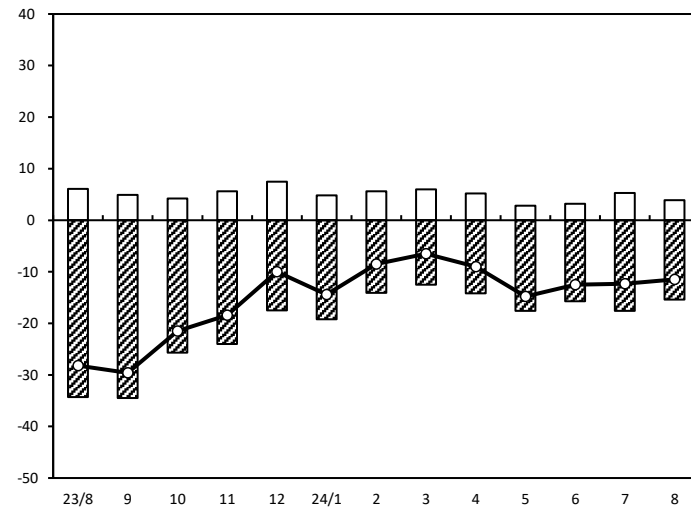
(年月)

採算



(年月)

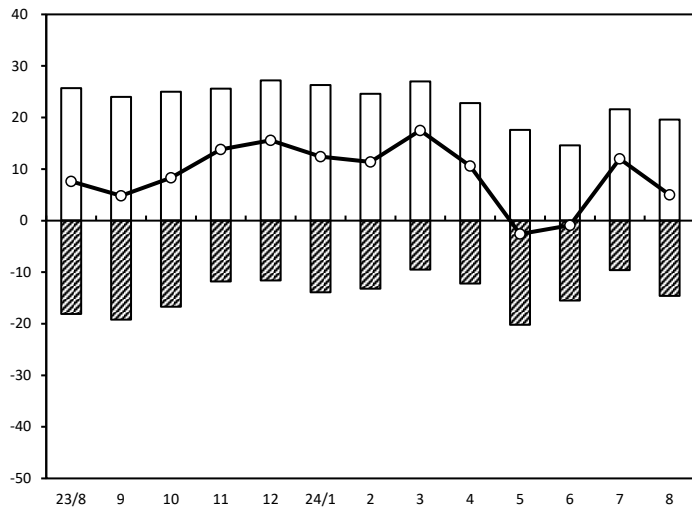
業界の業況



(年月)

建設業(前年同月比)

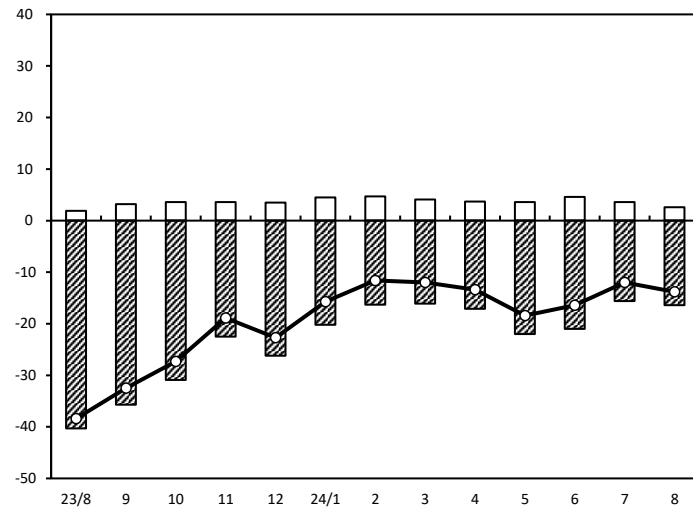
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/8	25.7	-18.1	7.6
9	24.0	-19.2	4.8
10	25.0	-16.7	8.3
11	25.6	-11.8	13.8
12	27.2	-11.6	15.6
24/1	26.3	-13.9	12.4
2	24.6	-13.2	11.4
3	27.0	-9.5	17.5
4	22.8	-12.2	10.6
5	17.6	-20.2	-2.6
6	14.6	-15.5	-0.9
7	21.6	-9.6	12.0
8	19.6	-14.6	5.0

(年月)

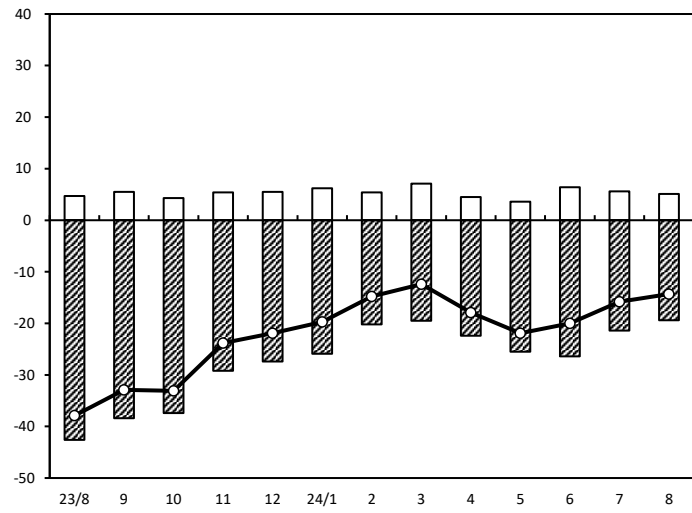
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/8	1.9	-40.3	-38.4
9	3.2	-35.7	-32.5
10	3.6	-30.9	-27.3
11	3.6	-22.5	-18.9
12	3.5	-26.2	-22.7
24/1	4.5	-20.2	-15.7
2	4.7	-16.3	-11.6
3	4.1	-16.1	-12.0
4	3.7	-17.1	-13.4
5	3.6	-22.0	-18.4
6	4.6	-21.0	-16.4
7	3.6	-15.6	-12.0
8	2.6	-16.4	-13.8

(年月)

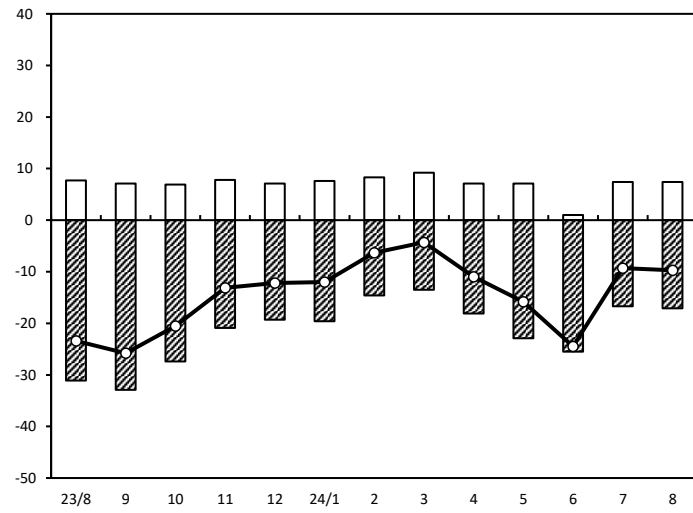
採算



年/月	増加	減少	DI
23/8	4.7	-42.6	-37.9
9	5.5	-38.4	-32.9
10	4.3	-37.4	-33.1
11	5.4	-29.2	-23.8
12	5.5	-27.4	-21.9
24/1	6.2	-25.9	-19.7
2	5.4	-20.2	-14.8
3	7.1	-19.5	-12.4
4	4.5	-22.4	-17.9
5	3.6	-25.5	-21.9
6	6.4	-26.4	-20.0
7	5.6	-21.4	-15.8
8	5.1	-19.4	-14.3

(年月)

業界の業況

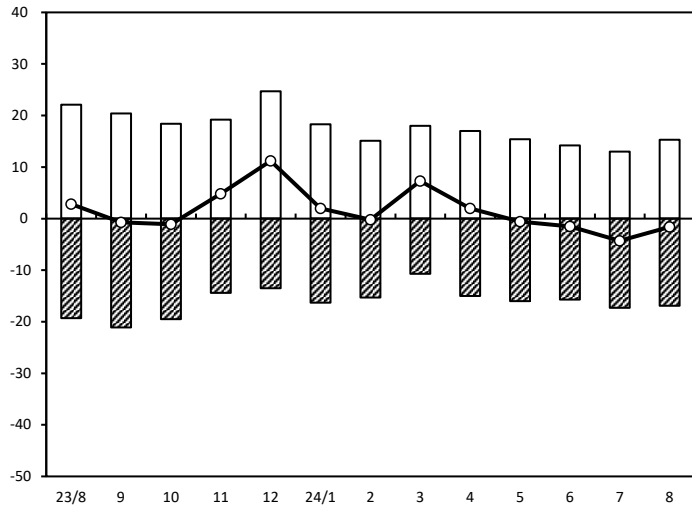


年/月	増加	減少	DI
23/8	7.7	-31.1	-23.4
9	7.1	-32.9	-25.8
10	6.9	-27.4	-20.5
11	7.8	-20.9	-13.1
12	7.1	-19.3	-12.2
24/1	7.6	-19.6	-12.0
2	8.3	-14.6	-6.3
3	9.2	-13.5	-4.3
4	7.1	-18.1	-11.0
5	7.1	-22.9	-15.8
6	1.0	-25.5	-24.5
7	7.4	-16.7	-9.3
8	7.4	-17.1	-9.7

(年月)

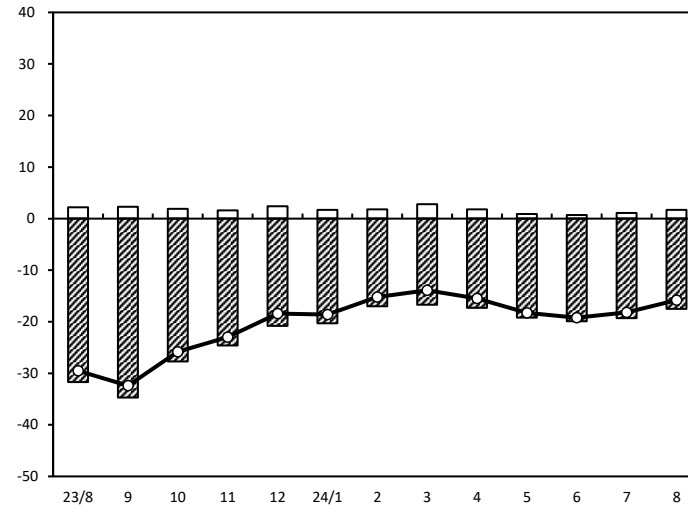
小 売 業(前年同月比)

売上額



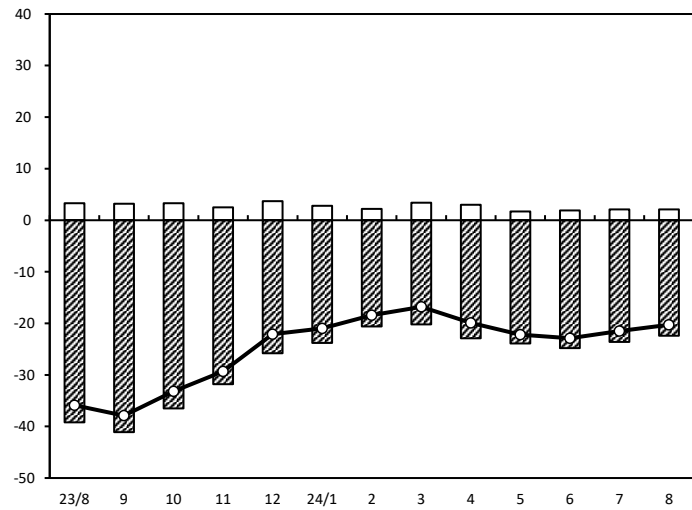
(年月)

資金繰り



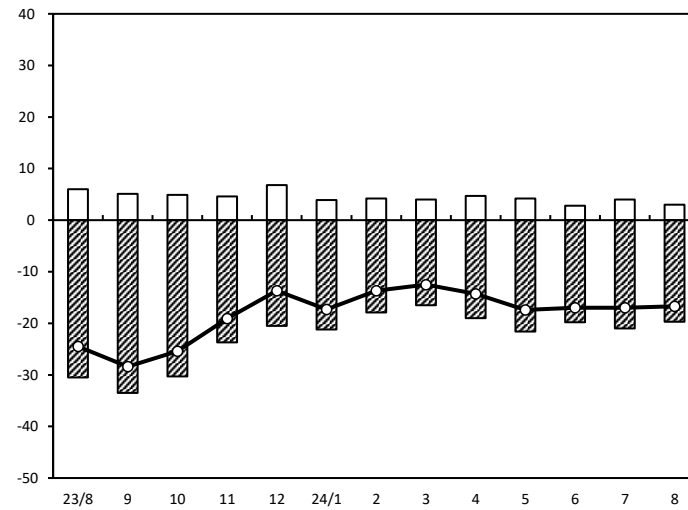
(年月)

採算



(年月)

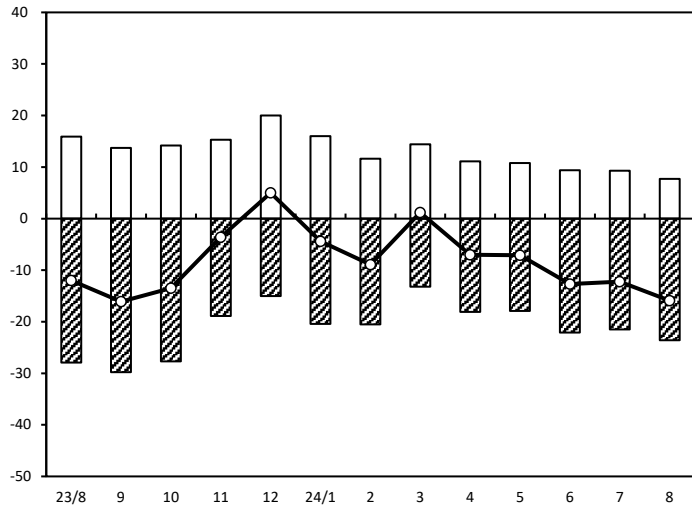
業界の業況



(年月)

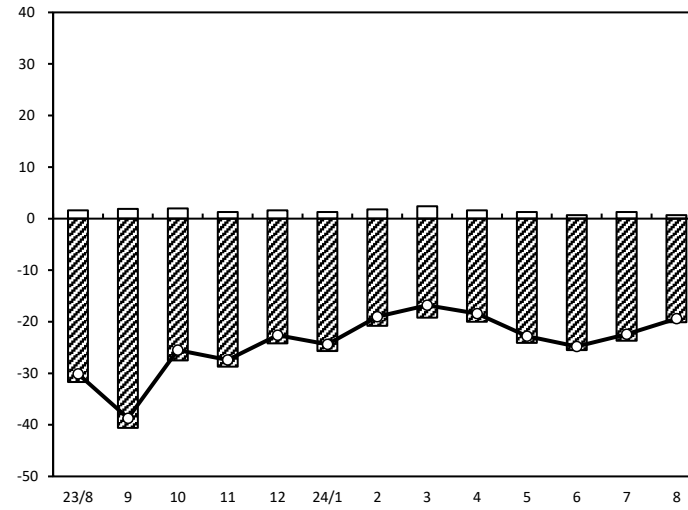
小売業【衣料品】（前年同月比）

売上額



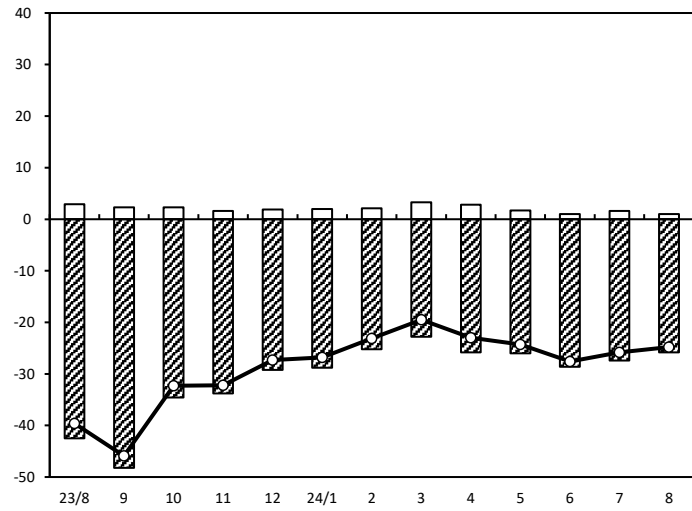
(年月)

資金繰り



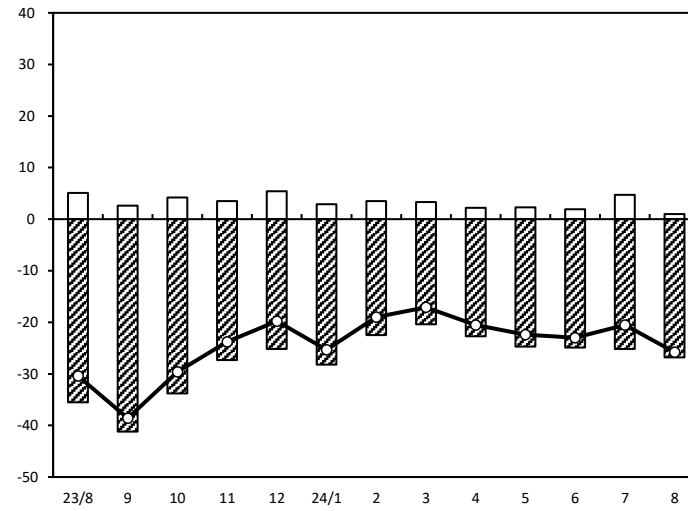
(年月)

採算



(年月)

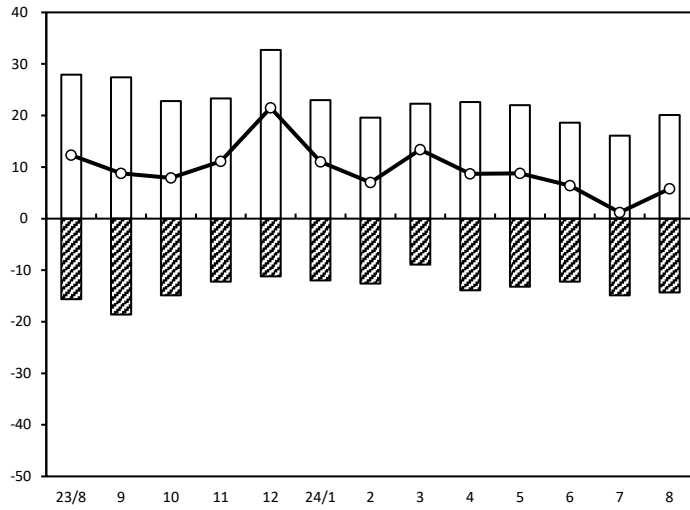
業界の業況



(年月)

小売業【食料品】（前年同月比）

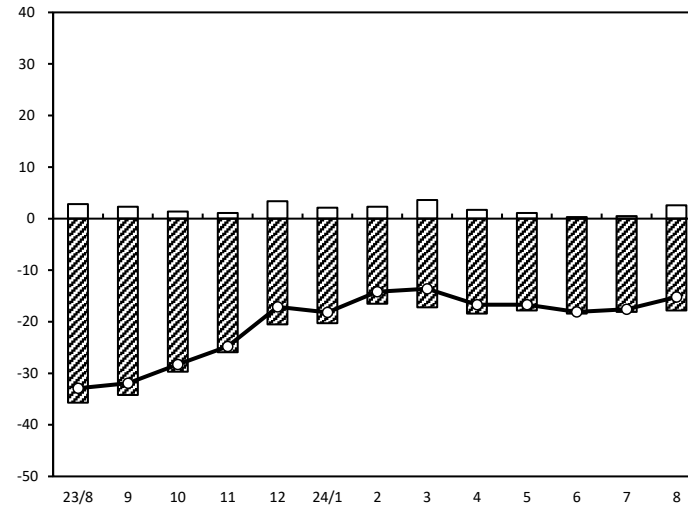
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/8	27.9	-15.6	12.3
9	27.4	-18.6	8.8
10	22.8	-14.9	7.9
11	23.3	-12.2	11.1
12	32.7	-11.2	21.5
24/1	23.0	-12.0	11.0
2	19.6	-12.6	7.0
3	22.3	-8.9	13.4
4	22.6	-13.9	8.7
5	22.0	-13.2	8.8
6	18.6	-12.2	6.4
7	16.1	-14.9	1.2
8	20.1	-14.3	5.8

(年月)

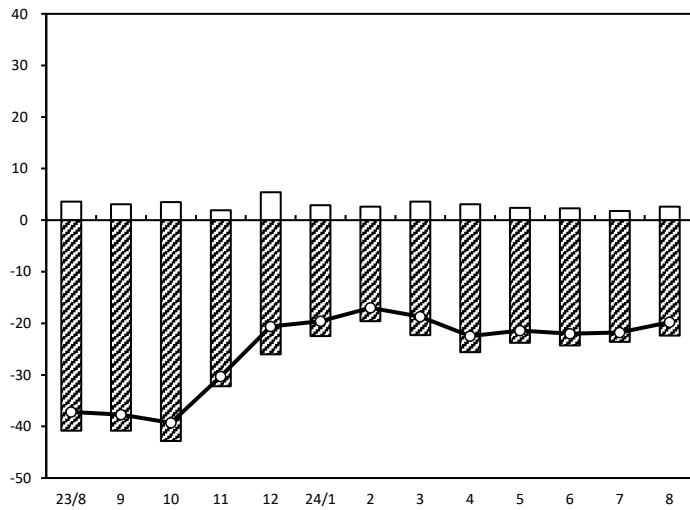
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/8	2.8	-35.7	-32.9
9	2.3	-34.2	-31.9
10	1.4	-29.7	-28.3
11	1.1	-25.9	-24.8
12	3.4	-20.5	-17.1
24/1	2.1	-20.3	-18.2
2	2.3	-16.5	-14.2
3	3.6	-17.2	-13.6
4	1.7	-18.4	-16.7
5	1.1	-17.8	-16.7
6	0.3	-18.4	-18.1
7	0.5	-18.1	-17.6
8	2.6	-17.8	-15.2

(年月)

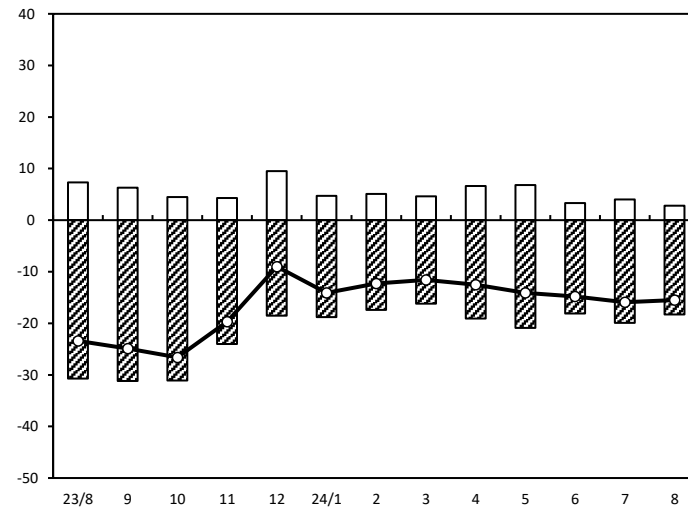
採算



年/月	増加	減少	DI
23/8	3.6	-40.8	-37.2
9	3.1	-40.8	-37.7
10	3.5	-42.8	-39.3
11	1.9	-32.2	-30.3
12	5.4	-26.0	-20.6
24/1	2.9	-22.5	-19.6
2	2.6	-19.6	-17.0
3	3.6	-22.3	-18.7
4	3.1	-25.6	-22.5
5	2.4	-23.8	-21.4
6	2.3	-24.3	-22.0
7	1.8	-23.6	-21.8
8	2.6	-22.4	-19.8

(年月)

業界の業況

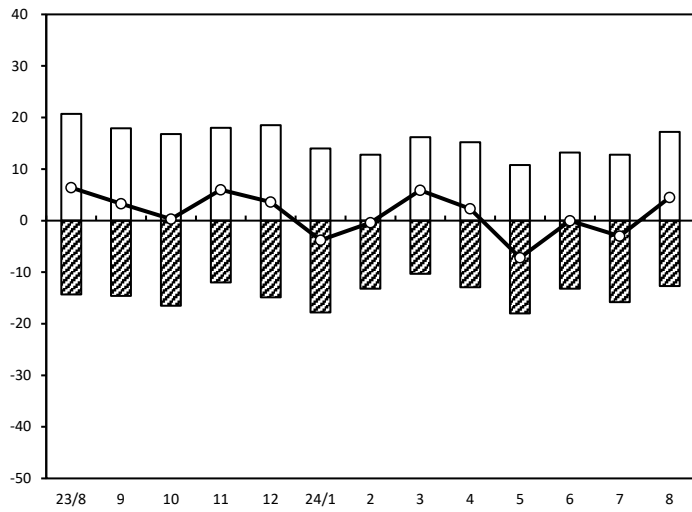


年/月	増加	減少	DI
23/8	7.3	-30.7	-23.4
9	6.3	-31.2	-24.9
10	4.5	-31.1	-26.6
11	4.3	-24.0	-19.7
12	9.5	-18.5	-9.0
24/1	4.7	-18.8	-14.1
2	5.1	-17.4	-12.3
3	4.6	-16.2	-11.6
4	6.6	-19.1	-12.5
5	6.8	-20.9	-14.1
6	3.3	-18.1	-14.8
7	4.0	-19.9	-15.9
8	2.8	-18.3	-15.5

(年月)

小売業【耐久消費財】（前年同月比）

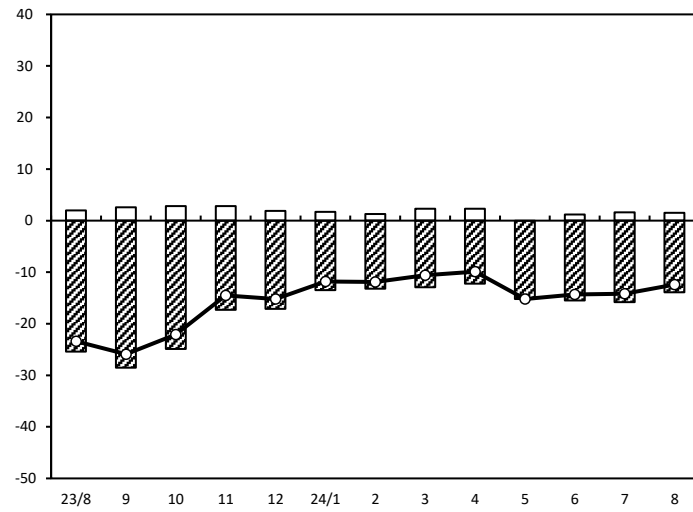
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/8	20.7	-14.3	6.4
9	17.9	-14.6	3.3
10	16.8	-16.5	0.3
11	18.0	-12.0	6.0
12	18.5	-14.9	3.6
24/1	14.0	-17.8	-3.8
2	12.8	-13.2	-0.4
3	16.2	-10.3	5.9
4	15.2	-12.9	2.3
5	10.8	-18.0	-7.2
6	13.2	-13.2	0.0
7	12.8	-15.8	-3.0
8	17.2	-12.7	4.5

(年月)

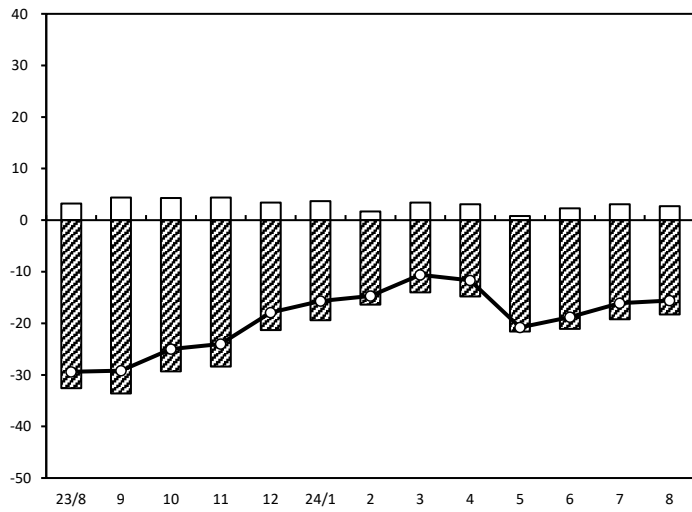
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/8	2.0	-25.4	-23.4
9	2.6	-28.5	-25.9
10	2.8	-24.9	-22.1
11	2.8	-17.3	-14.5
12	1.9	-17.1	-15.2
24/1	1.7	-13.5	-11.8
2	1.3	-13.2	-11.9
3	2.3	-12.9	-10.6
4	2.3	-12.2	-9.9
5	0.0	-15.2	-15.2
6	1.2	-15.5	-14.3
7	1.6	-15.8	-14.2
8	1.5	-13.9	-12.4

(年月)

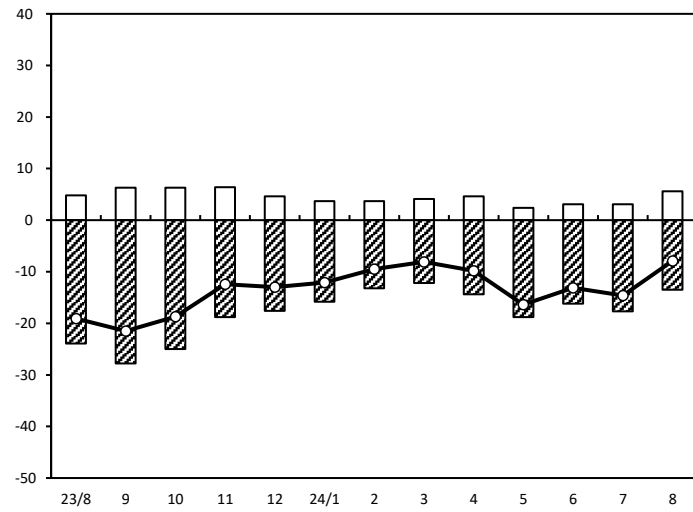
採算



年/月	増加	減少	DI
23/8	3.2	-32.6	-29.4
9	4.4	-33.6	-29.2
10	4.3	-29.3	-25.0
11	4.4	-28.4	-24.0
12	3.4	-21.3	-17.9
24/1	3.7	-19.4	-15.7
2	1.7	-16.4	-14.7
3	3.4	-14.0	-10.6
4	3.1	-14.8	-11.7
5	0.8	-21.6	-20.8
6	2.3	-21.1	-18.8
7	3.1	-19.2	-16.1
8	2.7	-18.3	-15.6

(年月)

業界の業況

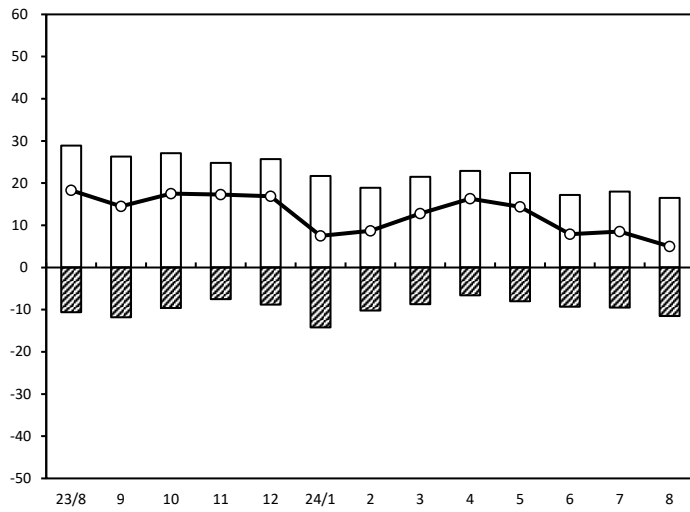


年/月	増加	減少	DI
23/8	4.8	-23.9	-19.1
9	6.3	-27.8	-21.5
10	6.3	-25.0	-18.7
11	6.4	-18.8	-12.4
12	4.6	-17.6	-13.0
24/1	3.7	-15.8	-12.1
2	3.7	-13.2	-9.5
3	4.1	-12.2	-8.1
4	4.6	-14.4	-9.8
5	2.4	-18.8	-16.4
6	3.1	-16.2	-13.1
7	3.1	-17.7	-14.6
8	5.6	-13.5	-7.9

(年月)

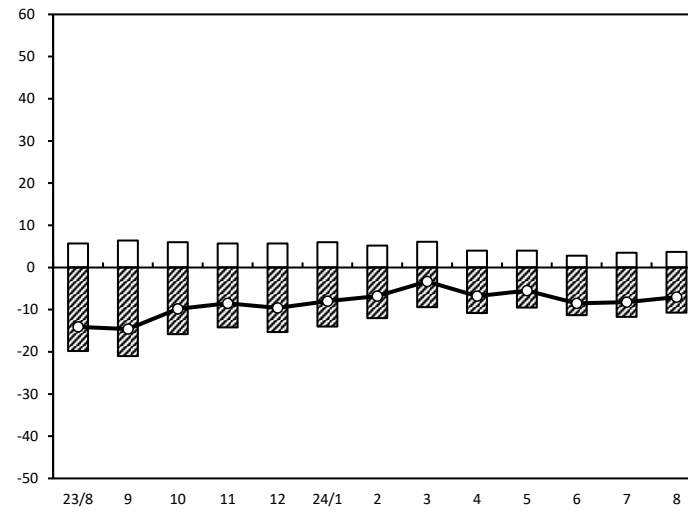
サービス業(前年同月比)

売上額



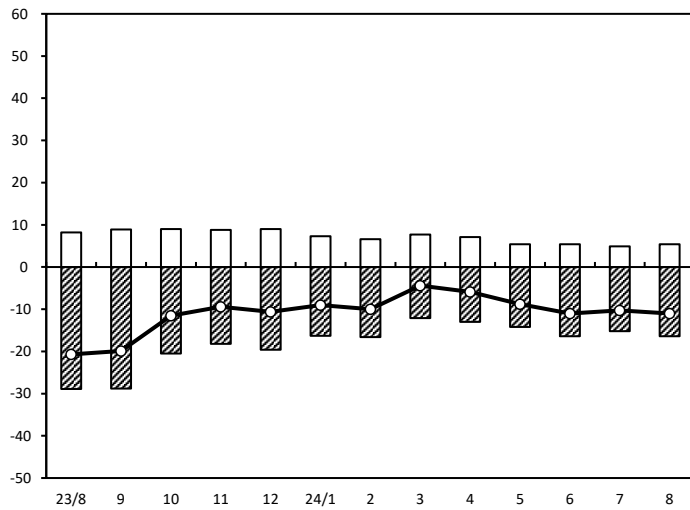
(年月)

資金繰り



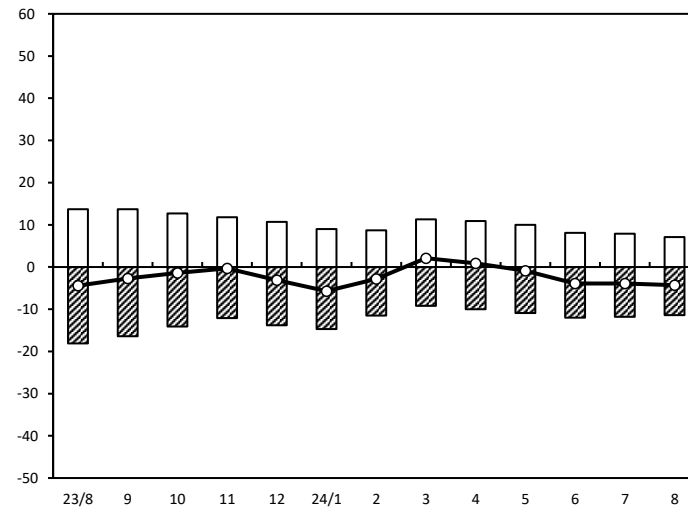
(年月)

採算



(年月)

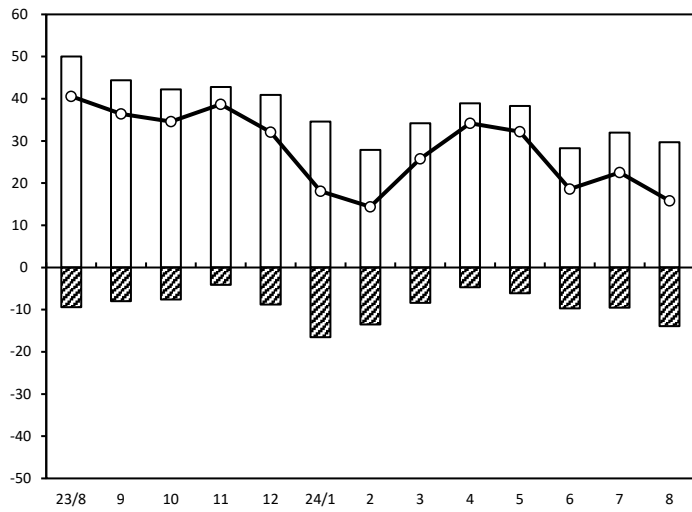
業界の業況



(年月)

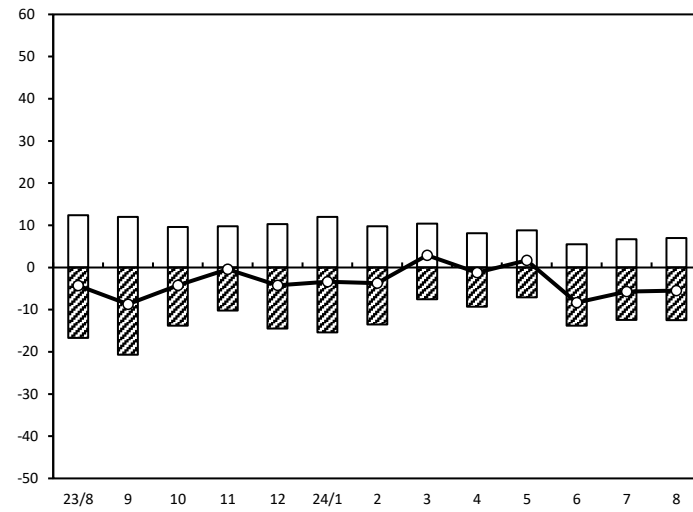
サービス業【旅館】（前年同月比）

売上額



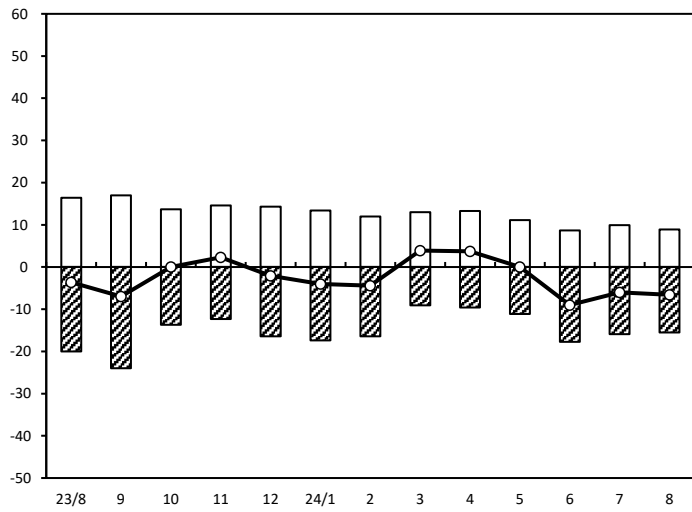
(年月)

資金繰り



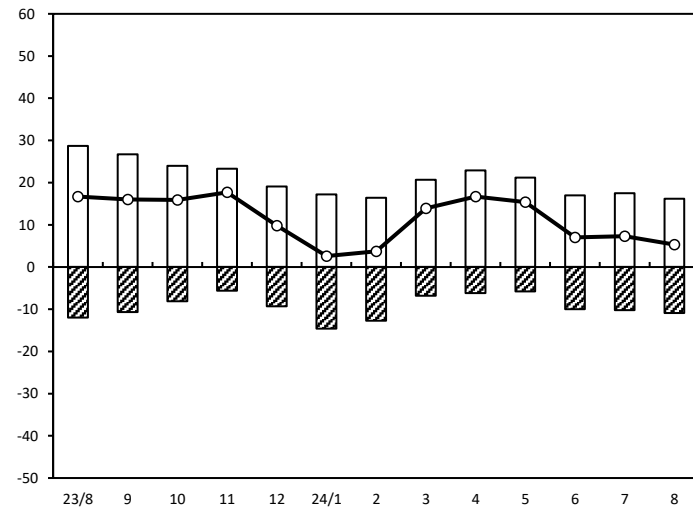
(年月)

採算



(年月)

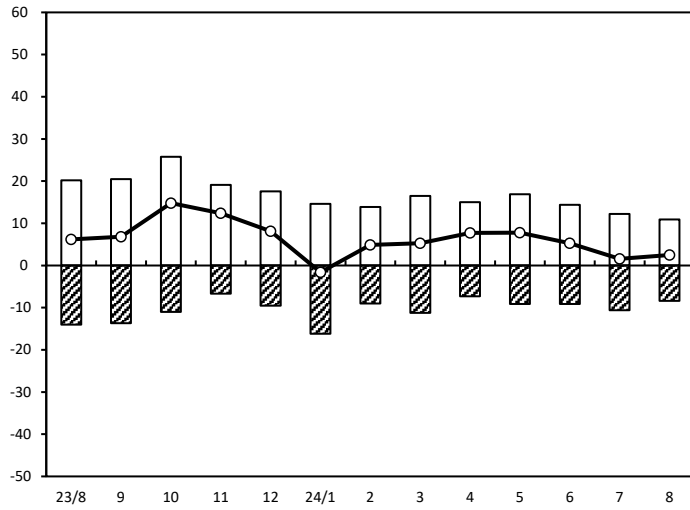
業界の業況



(年月)

サービス業【クリーニング】（前年同月比）

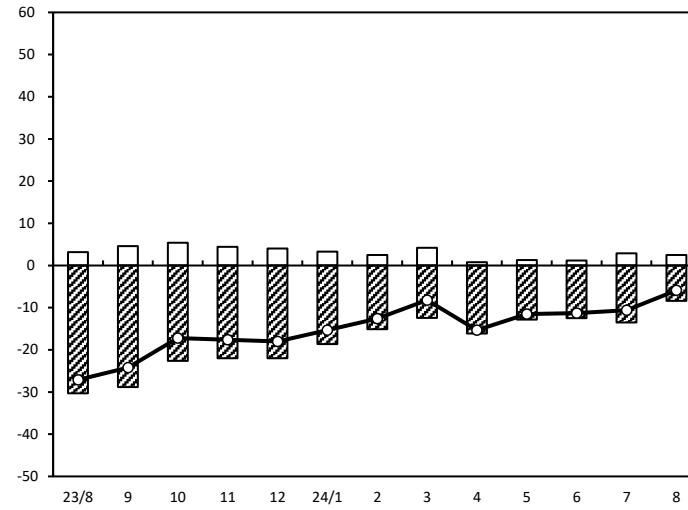
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/8	20.2	-14.0	6.2
9	20.5	-13.7	6.8
10	25.8	-11.0	14.8
11	19.1	-6.7	12.4
12	17.6	-9.5	8.1
24/1	14.6	-16.2	-1.6
2	13.9	-9.0	4.9
3	16.5	-11.2	5.3
4	15.0	-7.3	7.7
5	16.9	-9.1	7.8
6	14.4	-9.1	5.3
7	12.2	-10.6	1.6
8	10.9	-8.4	2.5

(年月)

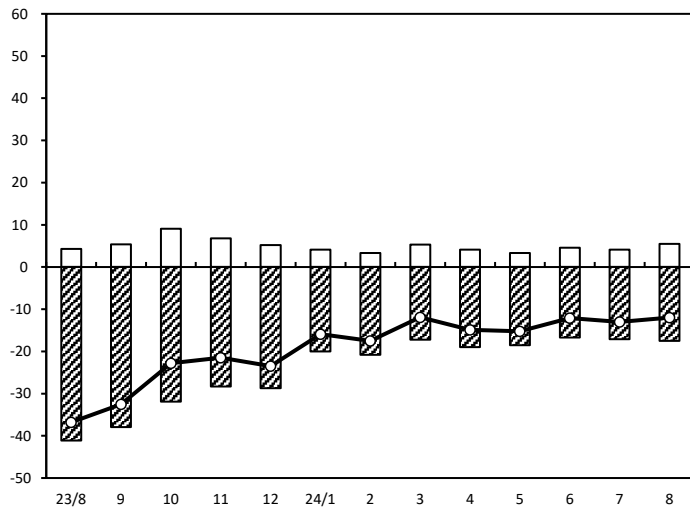
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/8	3.2	-30.3	-27.1
9	4.6	-28.8	-24.2
10	5.4	-22.6	-17.2
11	4.4	-22.0	-17.6
12	4.0	-22.0	-18.0
24/1	3.3	-18.6	-15.3
2	2.5	-15.1	-12.6
3	4.2	-12.4	-8.2
4	0.8	-16.1	-15.3
5	1.3	-12.8	-11.5
6	1.2	-12.5	-11.3
7	2.9	-13.5	-10.6
8	2.5	-8.4	-5.9

(年月)

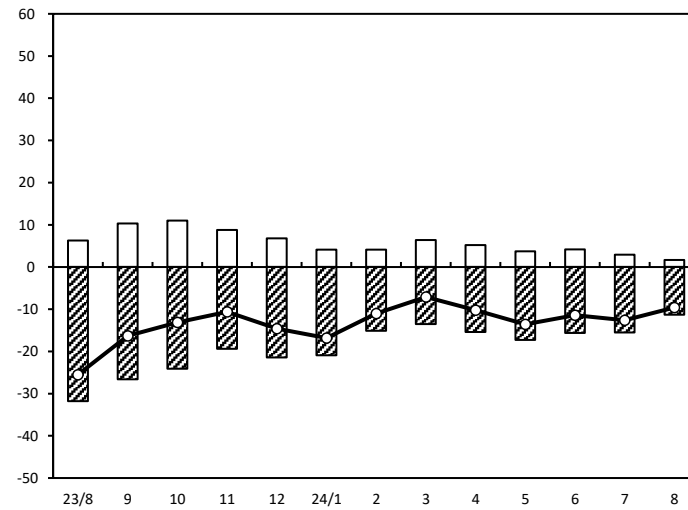
採算



年/月	増加	減少	DI
23/8	4.3	-41.1	-36.8
9	5.4	-37.9	-32.5
10	9.1	-31.9	-22.8
11	6.8	-28.3	-21.5
12	5.2	-28.7	-23.5
24/1	4.1	-20.0	-15.9
2	3.3	-20.8	-17.5
3	5.3	-17.2	-11.9
4	4.1	-19.0	-14.9
5	3.3	-18.5	-15.2
6	4.6	-16.7	-12.1
7	4.1	-17.1	-13.0
8	5.5	-17.5	-12.0

(年月)

業界の業況

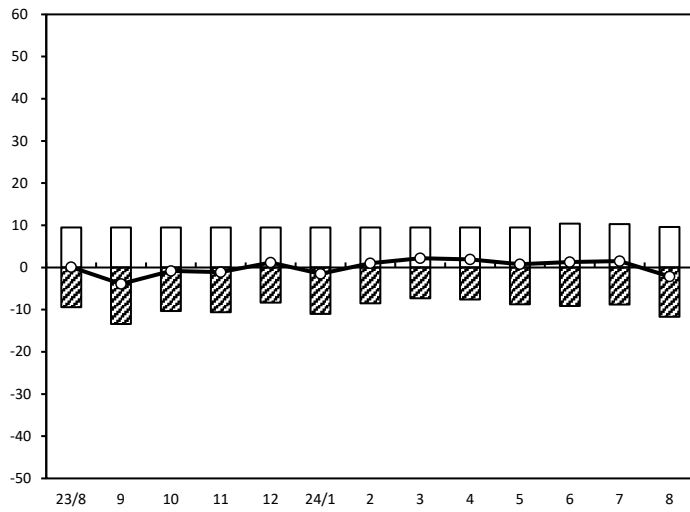


年/月	増加	減少	DI
23/8	6.3	-31.8	-25.5
9	10.3	-26.6	-16.3
10	11.0	-24.1	-13.1
11	8.8	-19.4	-10.6
12	6.8	-21.4	-14.6
24/1	4.1	-20.9	-16.8
2	4.1	-15.1	-11.0
3	6.4	-13.5	-7.1
4	5.2	-15.4	-10.2
5	3.7	-17.3	-13.6
6	4.2	-15.6	-11.4
7	2.9	-15.5	-12.6
8	1.7	-11.3	-9.6

(年月)

サービス業【理・美容】（前年同月比）

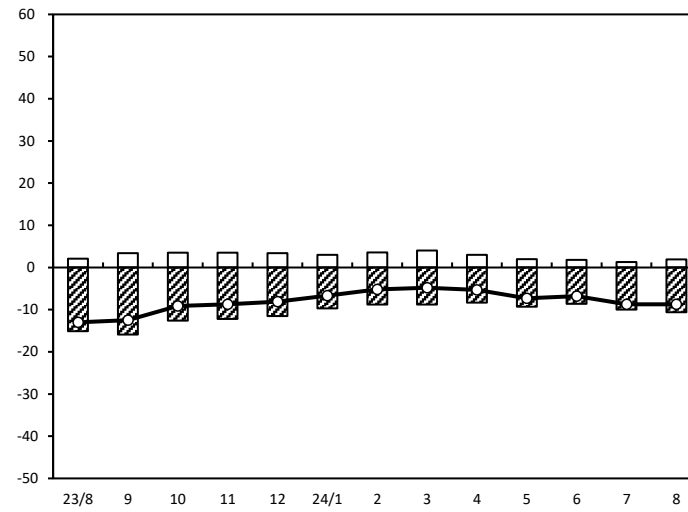
売上額



年/月	増加	減少	DI
23/8	9.5	-9.4	0.1
9	9.5	-13.4	-3.9
10	9.5	-10.3	-0.8
11	9.5	-10.6	-1.1
12	9.5	-8.3	1.2
24/1	9.5	-11.0	-1.5
2	9.5	-8.5	1.0
3	9.5	-7.3	2.2
4	9.5	-7.6	1.9
5	9.5	-8.7	0.8
6	10.4	-9.1	1.3
7	10.3	-8.8	1.5
8	9.6	-11.7	-2.1

(年月)

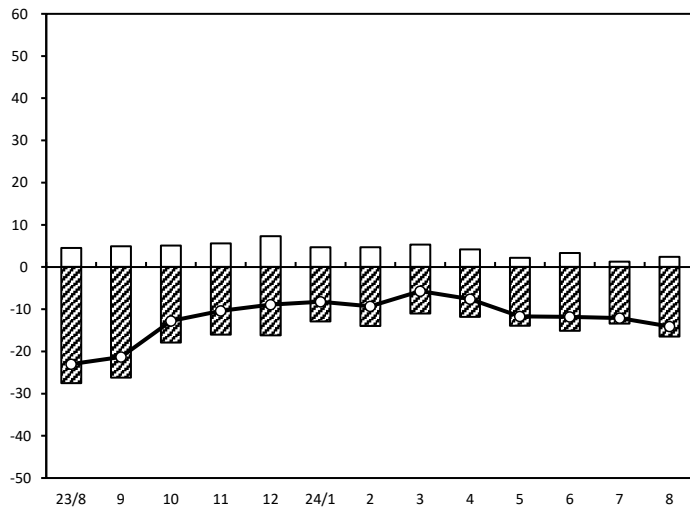
資金繰り



年/月	増加	減少	DI
23/8	2.1	-15.1	-13.0
9	3.4	-15.9	-12.5
10	3.5	-12.6	-9.1
11	3.5	-12.2	-8.7
12	3.4	-11.5	-8.1
24/1	3.0	-9.7	-6.7
2	3.6	-8.8	-5.2
3	4.0	-8.8	-4.8
4	3.0	-8.3	-5.3
5	2.0	-9.3	-7.3
6	1.8	-8.6	-6.8
7	1.3	-10.0	-8.7
8	1.9	-10.6	-8.7

(年月)

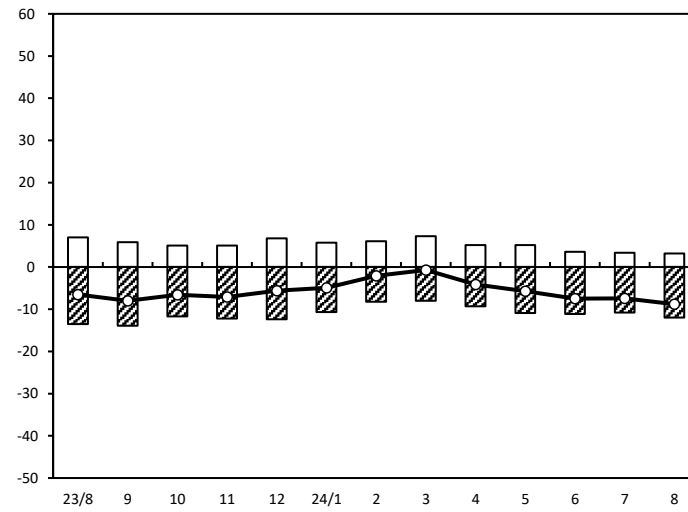
採算



年/月	増加	減少	DI
23/8	4.5	-27.5	-23.0
9	4.9	-26.2	-21.3
10	5.1	-17.9	-12.8
11	5.6	-16.0	-10.4
12	7.3	-16.2	-8.9
24/1	4.7	-12.9	-8.2
2	4.7	-14.0	-9.3
3	5.3	-11.0	-5.7
4	4.2	-11.8	-7.6
5	2.2	-13.9	-11.7
6	3.3	-15.1	-11.8
7	1.3	-13.4	-12.1
8	2.4	-16.5	-14.1

(年月)

業界の業況



年/月	増加	減少	DI
23/8	7.0	-13.5	-6.5
9	5.9	-13.9	-8.0
10	5.1	-11.7	-6.6
11	5.1	-12.2	-7.1
12	6.8	-12.4	-5.6
24/1	5.8	-10.7	-4.9
2	6.1	-8.2	-2.1
3	7.3	-8.0	-0.7
4	5.2	-9.3	-4.1
5	5.2	-10.9	-5.7
6	3.6	-11.1	-7.5
7	3.4	-10.8	-7.4
8	3.2	-12.0	-8.8

(年月)

小規模企業景気動向調査(8月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

売上向上及び顧客確保に向けての設備導入や、業務改善等の努力が見受けられる。従来の販売手法ではいけないという危機感を抱いてきているのが伝わる。

(茨城県利根町商工会)

観光では、インバウンドが回復傾向にあるが、木曾に来る外国人観光客は中山道を歩くことを目的としているため、酷暑の8月は減少する。しかし、日本人観光客がその穴を埋めるような状況であるため、観光業は多忙である。

(長野県木曾町商工会)

観光協会、まちづくり団体、商店街、企業など各々に夏祭りなどのイベントを開催して賑わいを創出し、イベントの出店者は多くの売上を得ていた。

(静岡県掛川みなみ商工会 大須賀)

観光客の増加に伴い各店売上も増加している。特に外国人の増加が顕著であり、インバウンド向けの商品や接客についての対応が急務である。

(広島県宮島町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

観光・イベント等地域における交流人口は増加しており、活気を取り戻しているが、物価高騰による販売価格の値上がりは消費意欲の低下となり、個店単位の売上は増加傾向にあるが、採算に結び付いていないと言いがたい。

(北海道新ひだか町商工会)

人材確保が難しいと答える事業者も多かったが、対して、人件費の支出が難しいと答えた事業者もいた。それに伴い飲食業界では出前を廃止し、雇用せず夫婦だけでの経営にシフトした事業者もあり。価格転嫁の遅れによりこのような問題がおきていることは確かであり、大変深刻な問題でもある。

(栃木県矢板市商工会)

全般的に厳しい経営状況が続いている。飲食店ではコメ不足により提供できない店舗もある。小売店は依然として厳しい経営状況である。大規模店に押され売上げが減少するとともに経営者の高齢化により廃業する件数が増加している。

(群馬県しづかわ商工会)

首都圏建設業者等から空き家の借用や食事の確保についてなどの問い合わせが多くなっている。実現すれば景気に与える好影響が期待できるが、今のところは仮の話であるため具体的な動きにはなっていない。

(石川県門前町商工会)

基幹産業である観光関連業では、8月末に発生した台風10号によりキャンセルが相次いだ。8月全体を鑑みると、例年より天気が良く稼働率も例年同月比よりも高かった。人材不足がずっと続いており、在庫出しを制限している施設が多い。どの業種も人材確保難が続いており、早急な対策を施す必要があると考える。当会では、人材確保セミナーの実施や個社支援などをいち早く実施しているものの、すぐ効果・成果が出るものではないため、支援方法の見直しを図っている。

(岐阜県高山北商工会)

物価の高止まり状況に事業者も慣れて経費見直しなど努力をしているなかで、10月の最低賃金更新が発表され事業継続に不安を抱えている。

(兵庫県姫路市商工会)

徳島県は最低賃金引き上げ額が全国で最大となっており、今後人材確保のための賃金引上げに伴う各種施策の創設を望む声が多い。

(徳島県上板町商工会)

南海トラフの地震注意報により、観光客等の旅行者のキャンセルが相次ぎ、宿泊業及び、飲食店等が非常に厳しい状況になっている。

(高知県四万十町商工会)

仕入価格の値上がりは各業種継続的にある。最低賃金の引き上げ、社会保険の加入など、資金力がない企業は非常に苦しいことが想定される。

(大分県玖珠町商工会)

お盆前の日向灘沖地震や、8月末の台風10号の影響で、宿泊業、観光関連サービス業、飲食業は売上が低調気味。9月～10月の行楽シーズンに期待している。台風の被害も大きかったが、金融による相談は思ったほどなく、損害保険の請求で対応している事業者が専らである。

(鹿児島県屋久島町商工会 安房支所)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

食料品製造業:原材料価格が高止まりしているが、価格への上乗せも進んでいる。機械金属製造業:業種により差はあるものの、比較的堅調な受注を維持している事業者が多い印象。

(東京都昭島市商工会)

食料品製造業は、近隣同業者が減少していることで、卸し販売先が増えて売上は増加した。また、原材料、食用油、容器類等が価格高騰していることから、何度か値上げ対応しているが客離れが心配である。

(富山県富山市北商工会)

土産物を製造する地元企業は、観光客の増加により売上も好調である。しかし、最近の猛暑により野菜や果物の高騰が特に目立ち、特産品を製造する業者については仕入れ値が跳ね上がり、利益確保に苦戦している。全体的に見た場合は、仕入れ値の高騰を売値に上手く反映できている事業所は、採算が取れているとの見方である。

(三重県伊勢小俣町商工会)

食料品製造業は、観光客増加に伴い販売も増加傾向にある。一方で物価上昇や人手不足に加え、猛暑や降雨量の減少が農作物へ影響を及ぼしており、不安定な供給状況も散見される。

(鹿児島県知名町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

酒類製造業において、原料米の値上げの連絡が入っており、瓶や包装材の資材高騰もあり商品価格の値上げを予定しているが、原料米の値上げが想定以上のため今後が不安である。

(岩手県前沢商工会)

食料品製造業では米の価格高騰が影響し、収益に圧力をかけています。繊維工業では、猛暑による夏物衣料の需要増加が見られ、景況感が改善しているようです。機械金属製造業では、半導体関連の設備投資が好調で、業界全体の景気を押し上げました。全体として、製造業は厳しい状況に直面しつつも、特定の需要増加や投資が景気を支えている状況と言えます。

(茨城県稲敷市商工会)

機械金属製造業の景況は、一進一退の状況であり不安定感が漂っている。そうした中、10月に控える最低賃金の引き上げは、(特に小規模事業者にとっては)自社財政にさらなる負担となるため、価格交渉の必要性が増している。

(新潟県寺泊町商工会)

売上は順調に推移しているが利益確保が厳しい。秋に原材料の値上げが実施される。最低賃金の上昇も今後見込まれることが懸念事項である。

(山梨県甲斐市商工会)

食料品製造業では、異常気象や自然災害の影響で品薄状態が続き、商品や原材料の高騰が進んでいる。また、商品や原材料の品質低下もみられる。価格転嫁が消費の減退につながる懸念から難しく、仮に価格転嫁ができたとしても、高騰した原材料費等の後追いになり、採算や資金繰りが厳しい状況である。輸送用機械器具製造業では、製品ニーズにおいて軽量化や燃費性能の向上、高強度・高耐久性の追求が進んでおり、高精度な製品製造に対応できる設備導入や生産体制を整備することが必要となっている。

(愛知県飛島村商工会)

食料品製造関連事業者は、原材料・光熱費の値上げや取引先の飲食店からの注文の減少により、採算が悪化してきている。

(兵庫県佐用町商工会)

食料品製造業では、急激なコスト上昇が利益を圧迫しており、価格転嫁が追いつかず、経営維持が困難だという意見も出ている。また、水産加工業においては、主原料の水揚げが激減し、仕入れ価格が高騰しているとの声も。温暖化による海水温の上昇が原因で、生息域が変わってしまった可能性が指摘されている。

(島根県石中央商工会)

原価高騰による利益の圧迫が続く。10月に最低賃金の改定、また食品製造業においては米価の上昇が予定されており、中小製造業においてはさらに厳しい業況が見込まれる。

(山口県山口県中央商工会 秋穂支所)

8月は造船所の夏季休暇が長めで、また、猛暑により動きがゆるくなるため、出来高計上も6割がたになった。仕入れは先行しますので採算・資金繰りは苦しい状況です。造船業界は建造状況、受注残をみても少し上向きになっていると思われます。

(福岡県筑紫野市商工会)

食品製造業は、資材価格や光熱費の上昇等製造コストも上昇、原材料生産コストの上昇も続き仕入れ単価も増加、販売価格転嫁も行っているが、他社との価格競争もあり十分な転嫁が行えていない。採算はやや悪化傾向。

(鹿児島県鶴の町商工会 野田支所)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

従業員規模が多いほど好調であるが、一人親方などの小規模・零細企業においては売上減少する企業も少なくない。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

公共工事や住宅建設が堅調に推移し、同月も好調を維持。特に公共インフラ整備の需要が高く、地域内での雇用も増加傾向。建材価格高騰から利益率の低下が懸念。

(栃木県壬生町商工会)

令和6年能登半島地震による復興需要が大きく、土木工事関連は受注が増加している。一方で、人手不足による受注量の限界にある事業所も多くなっている。採算については人件費のアップ、労働時間制限もあり期待しているほど確保出来ない状況。

(石川県津幡町商工会)

建築関連は回復傾向にあり板金業では工場や、学校など夏季休暇の間に工事が集中し大変忙しい状況となっているところもある。

(兵庫県丹波市商工会)

村内の令和2年豪雨災害復興に係る工事が継続しているため高止まりで推移している。

(熊本県球磨村商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

建設業に関しては、5月・6月頃と比較すると現場が増えてきているが前年比ではいまだ減少傾向にあり、仕入単価の上昇と併せて苦しい状況にある。

(宮城県栗原南部商工会)

売上、採算、資金繰りは安定しているが、仕入は依然として高値が続いている。業況に影響する程ではないが、気温の高い日が続き作業効率が悪化している。ファン付きの上着や涼感グッズで対策を講じている。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

建築資材の高止まりにより、住宅関連を中心に民間受注は不振に転じている。それらを補完するような形で公共工事が下支えしているような状況にある。しかし、建築資材の価格高騰の他にも人件費が増加しており、更なるコスト増加に苦慮している状況にある。

(福島県会津美里町商工会)

公共工事、民間工事ともに受注は増加傾向にあるものの、資材やエネルギー価格、人件費等の高騰により採算は悪化している。

(群馬県富士見商工会)

従業員数0～数名の小規模事業者からの資金繰りの相談が多かった。

(千葉県九十九里町商工会)

災害復興が落ち着き、公共土木工事業者の受注が減っており売上の減少へつながっている。

(新潟県朝日商工会)

建設業は、プレミアム工事券の発行で受注獲得機会が増えているものの、原材料価格の高騰が大きく影響し、資金繰り難の事業所も多くなっている。引き続き建材等の価格は未だ値上げの連絡が問屋からあるとの事。

(静岡県河津町商工会)

受注が増えているが仕入単価の上昇・人材難が大きな問題となっており、特に後者は事業規模問わず課題となっている。外国人技能実習生の受入れを検討する事業所も増えているが、事務手続きの煩雑性や人材定着の困難さからうまくいっていない事業所が多数見受けられる。

(滋賀県湖南市商工会)

生コン価格は以前の3倍くらいになっている。また、生コン輸送車の運転手や生コン工場の働き方改革のため、土曜日の配達に対応してもらえなくなった。猛暑の影響で、日中の作業を止めており、その分、早出や夕方から19時ごろまでに作業時間を変更している。作業効率が落ちている。職人不足と言われているが偏りがあるようで、工務店や一人親方から下請けで使ってほしいとの営業電話が多い。

(岡山県瀬戸内市商工会)

建設業全般において、資材の仕入れや人件費などの建設コストは高止まりしており、契約先も価格面での慎重さを増している。そのため、複数の見積を取る傾向が強まり、新規受注を得ることが難しくなっている。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

土木工事は安定しているが、建築工事は減少傾向。

(大分県中津市しもげ商工会)

建設業関連の事業者は、売上の見込み等はあるものの、採算がとれなかったり、資金繰りに苦しんでいる状況になっている。そのため、融資の相談をうける建設業が多くなっている。

(沖縄県うるま市商工会 石川支所)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

青果卸売販売業:売上高について昨対約2割の売上増加。取引先が増加したことに加え、飲食店卸、ネット販売、加工品小売とも売上が増加。

(山形県南陽市商工会)

大手リフォーム業者との取引関係のあるサッシ、硝子販売業者は価格高騰の影響を受けるも、一定の価格転嫁が出来ており前年同様の水準で推移している。

(宮城県東松島市商工会)

家電小売業の事業者は、エアコンやLED電球への更新が好調。県や市が実施しているエネルギーコスト削減助成金の影響で増加している傾向がある。

(長野県臼田町商工会)

衣料品の売上は前年を上回り、好調を維持。消費者の購買意欲が高まってきている。食料品の大手小売店では、原油価格が落ち着きを見せたタイミングで期間限定の値下げ対応も散見。しかし商品群も限定されており、消費者の購買意欲に繋がるかどうかは不透明。家電販売においては記録的猛暑により、エアコン家電の売上は好調を継続。自動車販売業はメーカー認証問題による生産停止からの再開を受け、徐々に注文台数が増加するものと見込まれる。

(鳥取県鳥取市西商工会)

コロナの罹患者も一時的に増える事があるが、世間的に警戒感が薄れているため、来客等については前年以上に回復基調となっている。一方で仕入れ商品の価格上昇に伴い、販売価格についても調整が必要であるため、引続き対応に追われている。

(岡山県岡山北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

売上は戻り傾向にあるが、仕入れ価格が上昇傾向にあり、利益を圧迫している。

(宮城県丸森町商工会)

衣料品小売関連の事業者は、猛暑が続くと外出する人が減り服も売れなくなる、また、食料品等の値上げに伴い衣料品購入にかかる支出額が減っているとのこと。菓子小売関連の事業者は気候の影響もあり大型店で全て買物を済ませてしまうため売上に影響。自転車小売関連の事業者はここ数年仕入単価が上昇しているとのこと。

(栃木県那珂川町商工会)

引き続きの円安で輸入食材のコストが増加し、価格転嫁できていない企業は利益確保に苦慮している。

(東京都小金井市商工会)

対象の事業者は飲食料品小売の移動販売事業で売上が前年同月(7月)と比較して11.9%増加、仕入も10.1%増加。取扱品である「飲料」の値上げが多かった。

(神奈川県足柄上商工会)

食料品小売業者について、野菜・菓子類の仕入額が特に上昇しており、採算悪化の原因の一つとなっている。野菜は天候不順等もあってこれまでの産地のものが入荷できないケースがある。

(福井県福井東商工会)

米不足の影響もあり米卸売小売業者は、大幅な値上げをしているものの仕入金額は上昇し続けている。今後、秋口に差し掛かると大量に仕入れをしないといけない時期になるが、価格が安定する兆しは薄く、仕入確保のための借入申込をしている状況である。

(岐阜県笠松町商工会)

観光客は増えているように感じたが、衣類を現地調達する観光客が減少しているため、利益が出ない。暑すぎて人参・玉ねぎなど北海道の商品が出荷する前に腐ってしまい、品薄状態。また、お盆時期の台風によって観光客のキャンセルが増加したため売上も減少。

(静岡県伊豆市商工会)

衣料品小売業は、例年であればやや減少傾向だが、今年の暑さで夏物が微増し不変であった。ただ消費者行動は鈍いと感じる。仕入価格は、秋物へ移行するため問屋が単価を下げている(セール品の対象)。食料品小売業は、客足は同じでも単価が高いため購入点数は減少し総額も減少している。利幅はかなり悪化している。耐久消費財は、車両販売売上が減少しているが、サービス部門は微増している。

(兵庫県新温泉町商工会)

小売業全体で仕入単価の上昇が定期的に行われており、昨年度よりも積極的に価格転嫁されている事業者が多い。売上は帰省シーズンの好影響を受けた事業者と、夏の暑さによる日中の外出を控えたため売上が下がった事業者に分かれた。総じて人手不足の声が多く、少ない人員で賄っている状態である。

(佐賀県武雄市商工会)

夏季は昨年同月と同等の入込客数があり、これに伴い比較的高水準で売上が推移しているが、飽和状態も否めないため、業況に大きな変化は見られない。

(鹿児島県あまみ商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

理美容業関連の事業者は、現在営業を継続している事業者に関しては、客単価を上げるべく新たなメニュー・サービスを追加するなどの企業努力により、やや好転している。

(栃木県うつのみや市商工会)

観光者が昨年と比較して引き続き増加傾向であり、次月の予約も昨年同月比較で好調である。

(静岡県岡部町商工会)

旅館業は、お盆や夏休み期間で繁忙期であった。観光客の中には、今回、南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて、太平洋側ではない鳥取に旅行先を変更されたという方がいた。洗濯業は、今夏も行事ごとが回復してきたことにより、前年同期に比べて売上は増加しているものの、投資を行う余裕が出るほどの利益確保までは届いていない。理美容業は、前年同期に比べて売上は増加傾向(客単価が上昇)しているものの、採算的には不動の状況である。

(鳥取県北栄町商工会)

旅館関連の事業者は、宴会の利用が継続的に続いており、売上・利益ともに増加傾向になっている。

(熊本県阿蘇市商工会)

まだまだポジティブな見込みあり。人手不足が大きな課題となっている。

(沖縄県本部町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

景況が良い事業所も少し増えてきたが、概ね人材不足・ベテラン従業員不足を課題としている。地域内の人口減少に歯止めが効かない状況にあるため、町外からの雇用を前向きに検討する事業所も増えてきている。事業所単独での新規雇用は課題が多いため町行政や商工会が間に入りサポートを行い、スムーズな雇用と人材定着を図っていくべきと感じた。

(青森県今別町商工会)

旅館業にとっては繁忙期であるお盆時期に天候不順によるキャンセルが発生するなど、例年に比べ売上が減少した。猛暑を始めとした異常気象が観光業に悪影響を及ぼしている。

(宮城県玉造商工会 鳴子事務所)

旅館・宿泊所関連の事業者はビジネス客、各種イベント、合宿等で宿泊収入は好調だった。仕出し、テイクアウトは減収となったが、売上全体ではほぼ同程度となった。採算性については、テイクアウト容器、紙おしぼりなどの価格高騰が止まらず、有料化、価格への上乗せの検討が必要となっている。洗濯業関連の事業者は暑い日が続いており、前半は厳しい状況が続いた。お祭りの後は少し回復してきている。飲食店の廃業やお客様の減少の影響で、売上は減少している。最低賃金が上がるため、ますます資金繰りは厳しい状況になりそうだ。理美容業関連の事業者は例年通り、お盆・お祭りに向けての来客が多数あった。

(秋田県かづの商工会)

旅館業では、夏季の旅行需要を獲得し売上はやや上昇しているものの、仕入単価(特に米価)や人件費が上昇。消費者ニーズを考慮すると、希望する価格転嫁は困難。需要は増加しているが、人手不足のため受け入れできない機会損失が生じている。洗濯業では、8月中旬までは好調を期待していたが、大型台風の影響で結果的には、昨年同月とあまり変わらない状況となった。理美容業では、消耗品等が価格上昇しているものの、1000円カットのような理容ディスカウント店が台頭してきており、客離れが進んでいる。後継者不足や成り手(専門学生)も減少している。

(群馬県嬬恋村商工会)

旅館業の事業者は、台風の影響でキャンセルが多かったと聞いている。洗濯業の事業者は影響が無く前年より売上が20%増となった。理美容業の事業者は、台風の接近とコロナ感染者の増加が、来店サイクルに影響していたと感じている。

(山梨県韮崎市商工会)

観光業は書き入れ時にもかかわらず、8月上旬の地震情報、お盆後半の台風の影響でキャンセルが発生し、比較的大きな旅館ではその影響が大きかったとの事。常時営業ではない小規模な宿泊施設では、コメ不足の影響でコメの確保に苦労したとの事。観光客向けの飲食業も客単価の低下を感じており、上記のとおり観光客の減少も重なり”売上はコロナ禍の方がマシ”との声が聞かれた。

(静岡県沼津市商工会)

主にクリーニング業界は、消費者の生活費の増加に伴い、売上に若干の影響を受けている。元々、8月の売上は1年を通して少ない時期ではあるが、前年同月と比べると、需要もやや減少しているように感じる。仕入れコストは安定しているものの、エネルギー費や労働費の上昇が利益を圧迫しており、価格改定も視野に入れないといけないう状況。

(山口県美祢市商工会)

地域においてはインバウンドの波及効果が乏しく、域内消費者の物価高騰による節約志向により、売上機会の減少につながっている。宿泊業、飲食業においては8月の日向灘地震発生に伴う南海トラフ巨大地震注意情報の発令により、お盆期間のキャンセルなど売上の減少につながった。

(鹿児島県志布志市商工会)